

農業者アンケート調査結果報告書

平成 30 年 3 月

川越市

1 川越市農業者アンケート概要

(1) 調査の目的

川越市における農業施策の指針となる「川越市農業振興計画」の策定に向け、川越市の農業・農産物に対して広くご意見を伺い、計画を定めるにあたっての参考とするため、アンケート調査を実施した。

(2) アンケート調査の概要

調査場所	川越市全域
対象	農業者 4,645 人
調査方法	川越市内に 10 a 以上の農地を所有する方を抽出
実施方法	郵送による配布・回収
実施期間	平成 29 年 12 月 15 日～12 月 28 日
有効回収数	1,650
有効回収率	35.5%

(3) 集計上の留意点

調査結果の比率はその設問の回答者数を母数(N)として、小数第2位を四捨五入して算出している。そのため、比率については、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合や加減の結果が一致しない場合がある。

複数回答形式の場合、回答比率の合計は100%を超える。

設問中、指定された選択数を超えて回答しているものについては、「無効」として処理し、集計にあたっては「無回答」に組み込んだ。

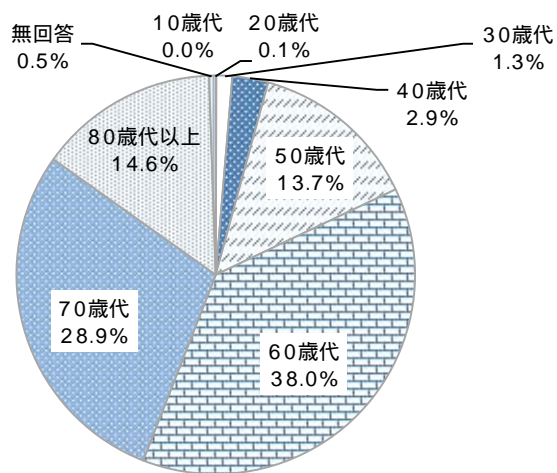
2 調査結果

あなたとご家族についてお伺いします。

問1 あなたの年齢はおいくつですか。(1つに)

「60歳代」が38.0%と最も多く、次いで「70歳代」が28.9%、「80歳代以上」が14.6%、「50歳代」が13.7%となっている。

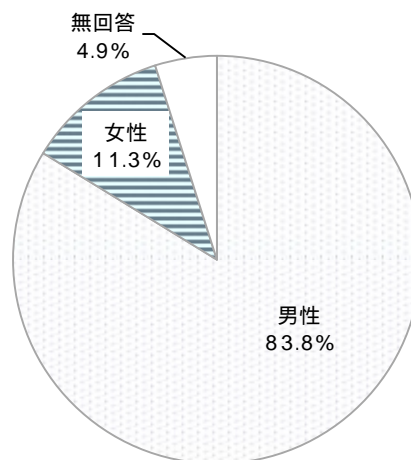
年齢	回答数	割合(%)
10歳代	0	0.0%
20歳代	1	0.1%
30歳代	21	1.3%
40歳代	48	2.9%
50歳代	226	13.7%
60歳代	627	38.0%
70歳代	477	28.9%
80歳代以上	241	14.6%
無回答	9	0.5%
全体	1,650	100.0%



問2 あなたの性別をお答えください。(1つに)

「男性」が83.8%と最も多く、次いで「女性」が11.3%となっている。

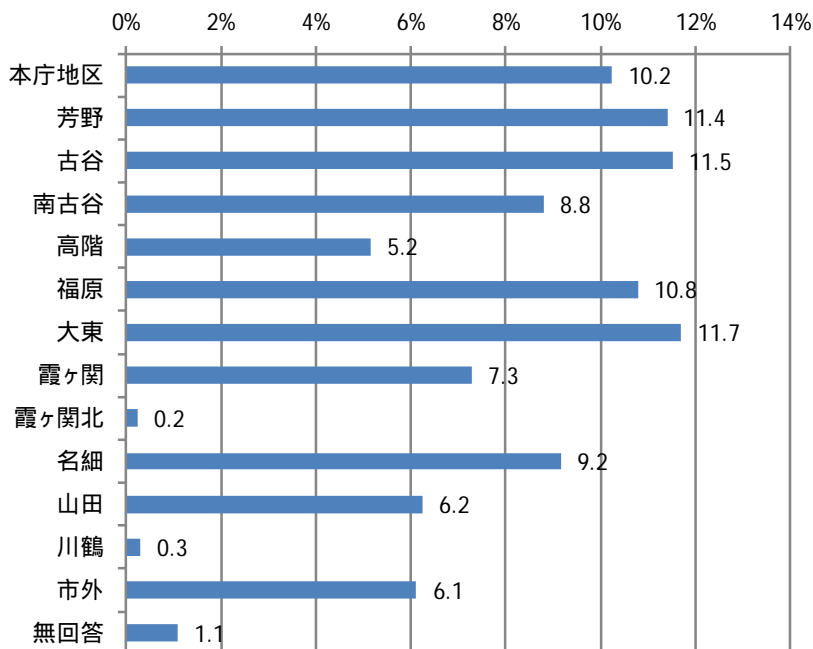
性別	回答数	割合(%)
男性	1382	83.8%
女性	187	11.3%
無回答	81	4.9%
全体	1,650	100.0%



問3 お住まいの地区をお答えください。(1つに)

「大東」が11.7%と最も多く、次いで「古谷」が11.5%、「芳野」が11.4%、「福原」が10.8%となっている。

居住地区	回答数	割合(%)
本庁地区	169	10.2%
芳野	188	11.4%
古谷	190	11.5%
南古谷	145	8.8%
高階	85	5.2%
福原	178	10.8%
大東	193	11.7%
霞ヶ関	120	7.3%
霞ヶ関北	4	0.2%
名細	151	9.2%
山田	103	6.2%
川鶴	5	0.3%
市外	101	6.1%
無回答	18	1.1%
全体	1,650	100.0%

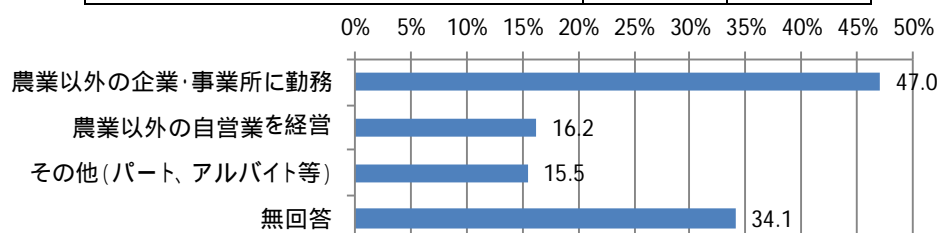


問4 あなたとあなたのご家族のうち農業以外の産業への就業の状況についてお教えてください。

(あてはまるものすべてに をつけ、人数を記入してください。)

「農業以外の企業・事業所に勤務」が47.0%と最も多く、次いで「農業以外の自営業を経営」が16.2%、「その他(パート、アルバイト等)」が15.5%となっている。

家族の農業以外の就業状況	回答数	割合(%)
農業以外の企業・事業所に勤務	776	47.0%
農業以外の自営業を経営	268	16.2%
その他(パート、アルバイト等)	255	15.5%
無回答	562	34.1%
全体	1,650	100.0%

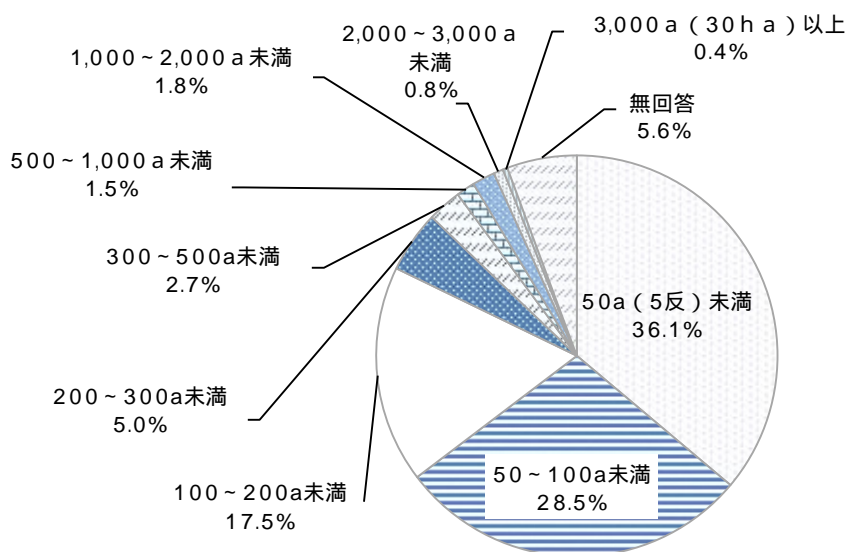


農業経営の状況についてお伺いします。

問5 あなたの農業経営規模（農地面積）をお教えてください（借入れ農地を含む）（1つに ）
 （注）1反は10aとしてください。

「50a（5反）未満」が36.1%と最も多く、次いで「50～100a未満」が28.5%、「100～200a未満」が17.5%、「200～300a未満」が5.0%となっている。

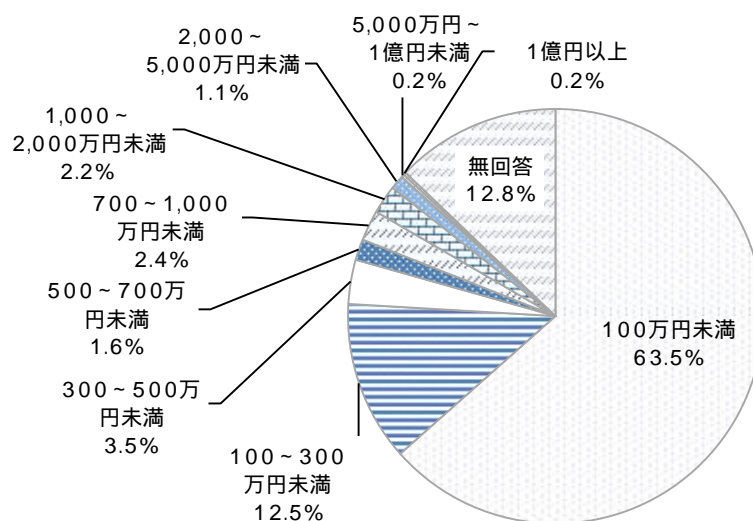
経営面積	回答数	割合(%)
50a(5反)未満	596	36.1%
50～100a未満	471	28.5%
100～200a未満	289	17.5%
200～300a未満	82	5.0%
300～500a未満	45	2.7%
500～1,000a未満	25	1.5%
1,000～2,000a未満	30	1.8%
2,000～3,000a未満	13	0.8%
3,000a(30ha)以上	6	0.4%
無回答	93	5.6%
全体	1,650	100.0%



問6 あなたの年間の農業経営規模（農業収入）についてお教えてください。（1つに ）

「100万円未満」が63.5%と最も多く、次いで「100～300万円未満」が12.5%、「300～500万円未満」が3.5%、「700～1,000万円未満」が2.4%となっている。

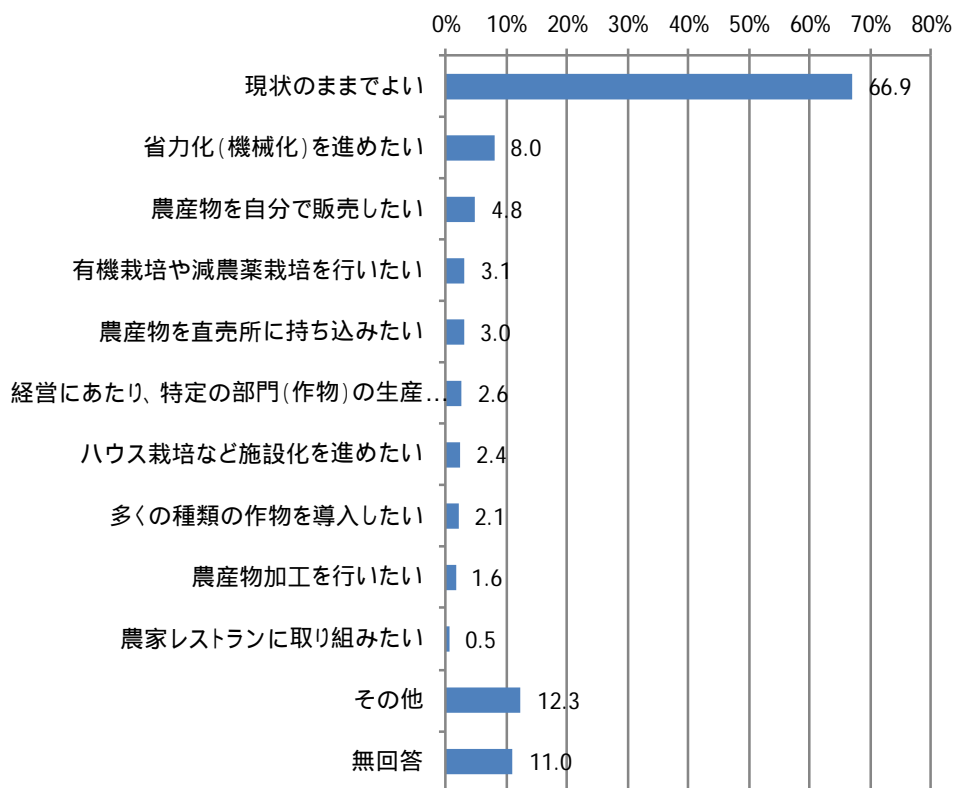
農業収入	回答数	割合(%)
100万円未満	1,047	63.5%
100～300万円未満	206	12.5%
300～500万円未満	57	3.5%
500～700万円未満	27	1.6%
700～1,000万円未満	39	2.4%
1,000～2,000万円未満	37	2.2%
2,000～5,000万円未満	18	1.1%
5,000万円～1億円未満	4	0.2%
1億円以上	3	0.2%
無回答	212	12.8%
全体	1,650	100.0%



問7 今後の農業経営について、どのようにしていきたいと考えますか。(3つまで)

「現状のままでよい」が66.9%と最も多く、次いで「その他」が12.3%、「省力化(機械化)を進めたい」が8.0%、「農産物を自分で販売したい」が4.8%となっている。

今後の農業経営	回答数	割合(%)
現状のままでよい	1,104	66.9%
省力化(機械化)を進めたい	132	8.0%
農産物を自分で販売したい	80	4.8%
有機栽培や減農薬栽培を行いたい	51	3.1%
農産物を直売所に持ち込みたい	49	3.0%
経営にあたり、特定の部門(作物)の生産に絞りたい(多量少品種)	43	2.6%
ハウス栽培など施設化を進めたい	39	2.4%
多くの種類の作物を導入したい	34	2.1%
農産物加工を行いたい	26	1.6%
農家レストランに取り組みたい	9	0.5%
その他	203	12.3%
無回答	181	11.0%
全体	1,650	100.0%

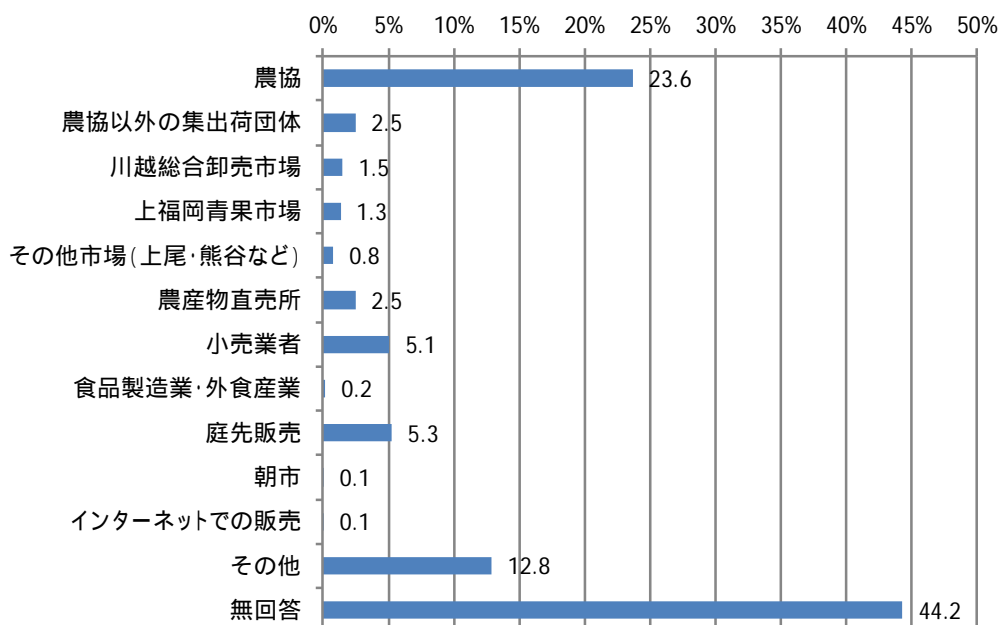


問8 あなたが生産している農産物の主な出荷先について以下の選択肢にある番号を記入してください。(多い順に3つまで)

「農協」が23.6%と最も多く、次いで「その他」が12.8%、「庭先販売」が5.3%、「小売業者」が5.1%となっている。

1位

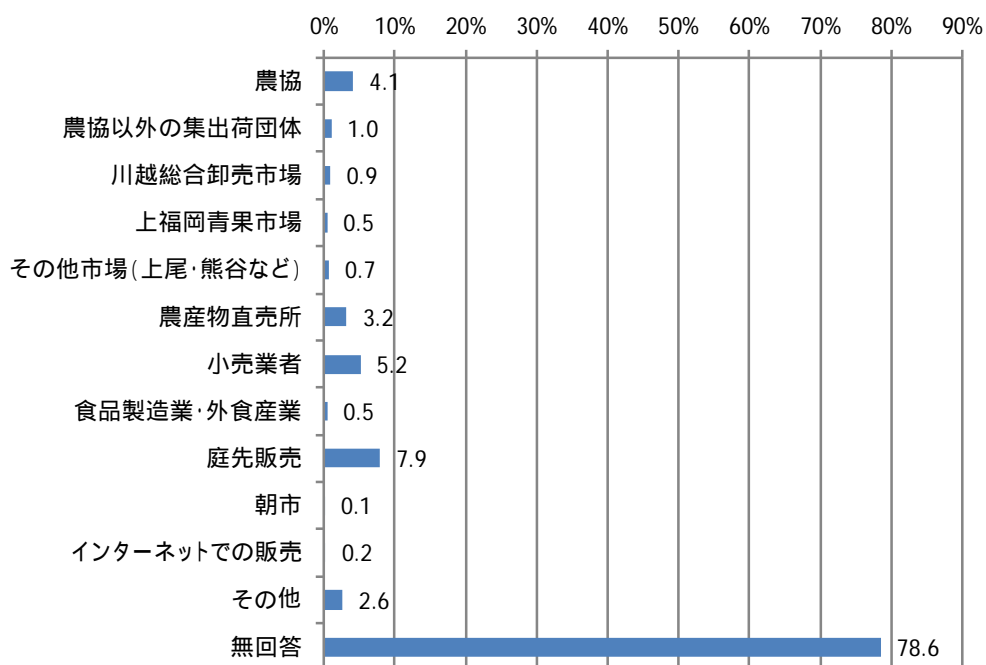
出荷先	回答数	割合(%)
農協	390	23.6%
農協以外の集出荷団体	41	2.5%
川越総合卸売市場	25	1.5%
上福岡青果市場	22	1.3%
その他市場(上尾・熊谷など)	13	0.8%
農産物直売所	41	2.5%
小売業者	84	5.1%
食品製造業・外食産業	3	0.2%
庭先販売	87	5.3%
朝市	1	0.1%
インターネットでの販売	1	0.1%
その他	212	12.8%
無回答	730	44.2%
全体	1,650	100.0%



2位は「庭先販売」が7.9%と最も多く、次いで「小売業者」が5.2%、「農協」が4.1%、「農産物直売所」が3.2%となっている。

2位

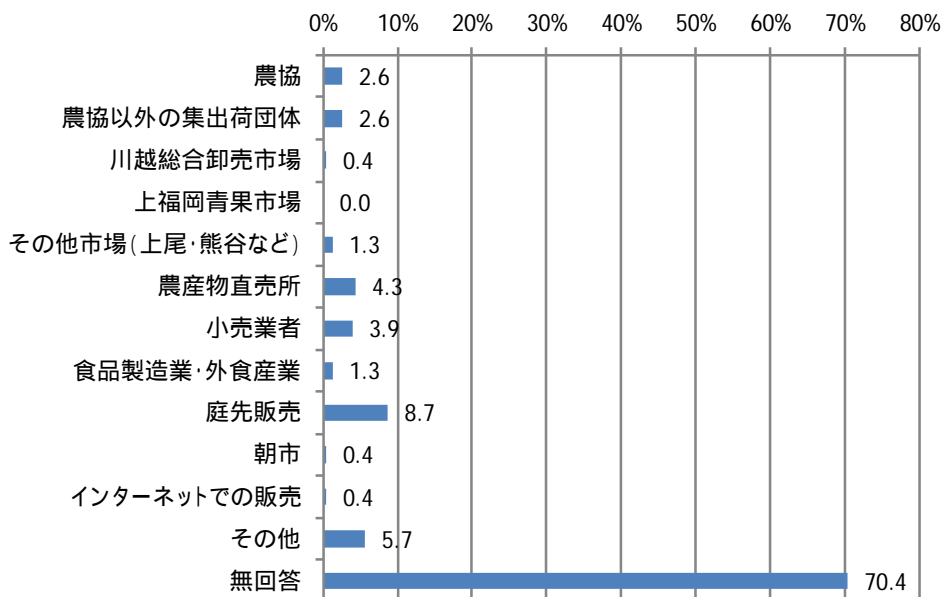
出荷先	回答数	割合(%)
農協	36	4.1%
農協以外の集出荷団体	9	1.0%
川越総合卸売市場	8	0.9%
上福岡青果市場	4	0.5%
その他市場(上尾・熊谷など)	6	0.7%
農産物直売所	28	3.2%
小売業者	45	5.2%
食品製造業・外食産業	4	0.5%
庭先販売	69	7.9%
朝市	1	0.1%
インターネットでの販売	2	0.2%
その他	23	2.6%
無回答	685	78.6%
全体	872	100.0%



3位は「庭先販売」が8.7%と最も多く、次いで「その他」が5.7%、「農産物直売所」が4.3%、「小売業者」が3.9%となっている。

3位

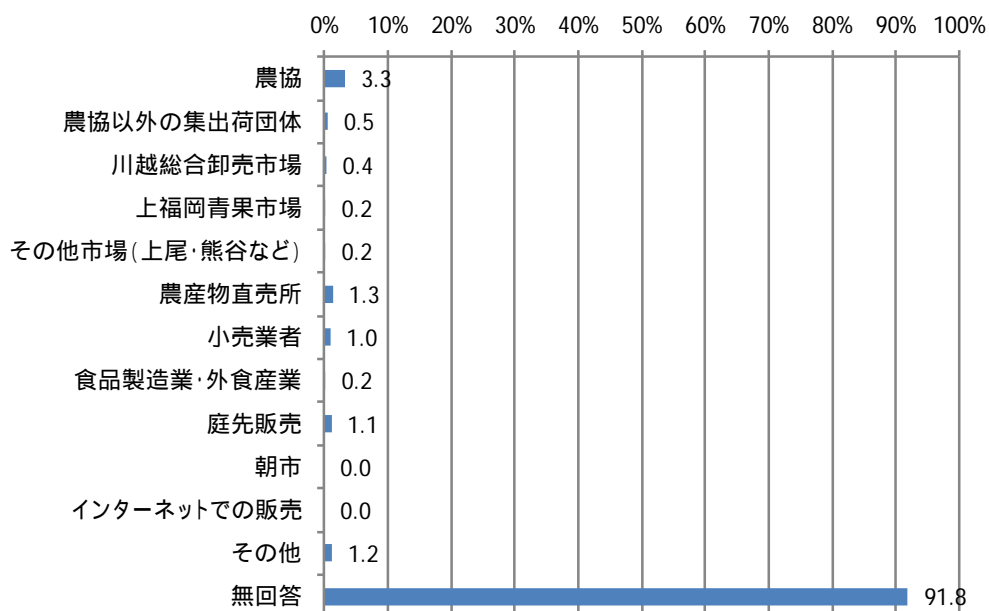
出荷先	回答数	割合(%)
農協	6	2.6%
農協以外の集出荷団体	6	2.6%
川越総合卸売市場	1	0.4%
上福岡青果市場	0	0.0%
その他市場(上尾・熊谷など)	3	1.3%
農産物直売所	10	4.3%
小売業者	9	3.9%
食品製造業・外食産業	3	1.3%
庭先販売	20	8.7%
朝市	1	0.4%
インターネットでの販売	1	0.4%
その他	13	5.7%
無回答	162	70.4%
全体	230	100.0%



また、近年（5年間程度）売上げが増減した出荷先がありましたら以下の選択肢にある番号を記入してください。（2つまで記入）

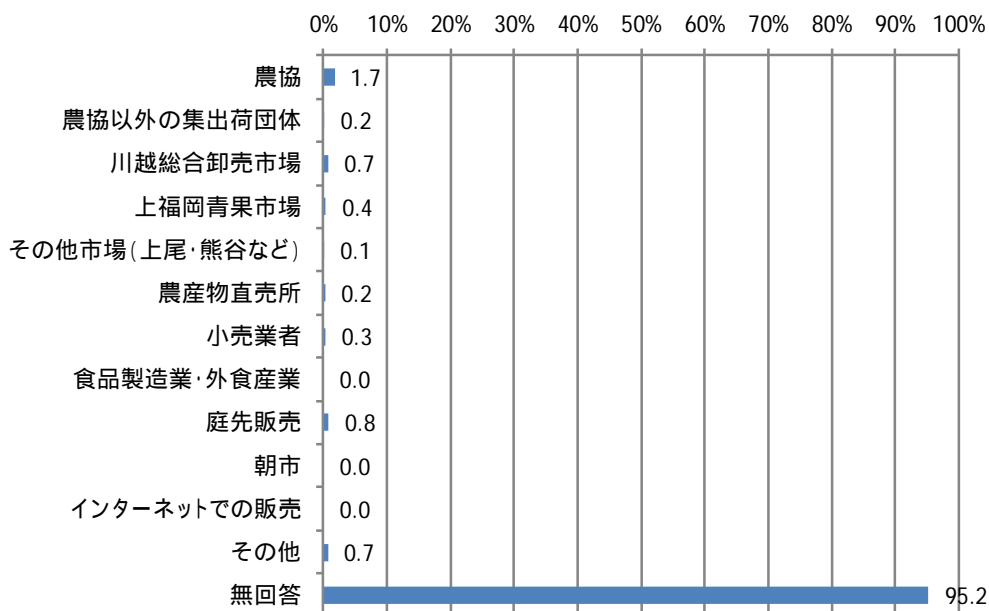
特に売上げが増加した出荷先（2つまで）は、「農協」が3.3%と最も多く、次いで「農産物直売所」が1.3%、「庭先販売」が1.1%、「小売業者」が1.0%となっている。

出荷先	回答数	割合(%)
農協	54	3.3%
農協以外の集出荷団体	9	0.5%
川越総合卸売市場	6	0.4%
上福岡青果市場	3	0.2%
その他市場(上尾・熊谷など)	3	0.2%
農産物直売所	22	1.3%
小売業者	16	1.0%
食品製造業・外食産業	3	0.2%
庭先販売	18	1.1%
朝市	0	0.0%
インターネットでの販売	0	0.0%
その他	20	1.2%
無回答	1,515	91.8%
全体	1,650	100.0%



特に売上げが減少した出荷先（2つまで）は、「農協」が1.7%と最も多く、次いで「庭先販売」が0.8%、「川越総合卸売市場」が0.7%、「上福岡青果市場」が0.4%となっている。

出荷先	回答数	割合 (%)
農協	28	1.7%
農協以外の集出荷団体	3	0.2%
川越総合卸売市場	12	0.7%
上福岡青果市場	7	0.4%
その他市場(上尾・熊谷など)	2	0.1%
農産物直売所	4	0.2%
小売業者	5	0.3%
食品製造業・外食産業	0	0.0%
庭先販売	14	0.8%
朝市	0	0.0%
インターネットでの販売	0	0.0%
その他	11	0.7%
無回答	1,570	95.2%
全体	1,650	100.0%



問9 あなたが生産している農産物について、生産額が多い順に3つ、以下の選択肢にある番号を記入してください。(3つまで記入)

「米」が43.4%と最も多く、次いで「ほうれんそう」が4.7%、「その他」が4.1%、「さといも」が2.4%となっている。

1位

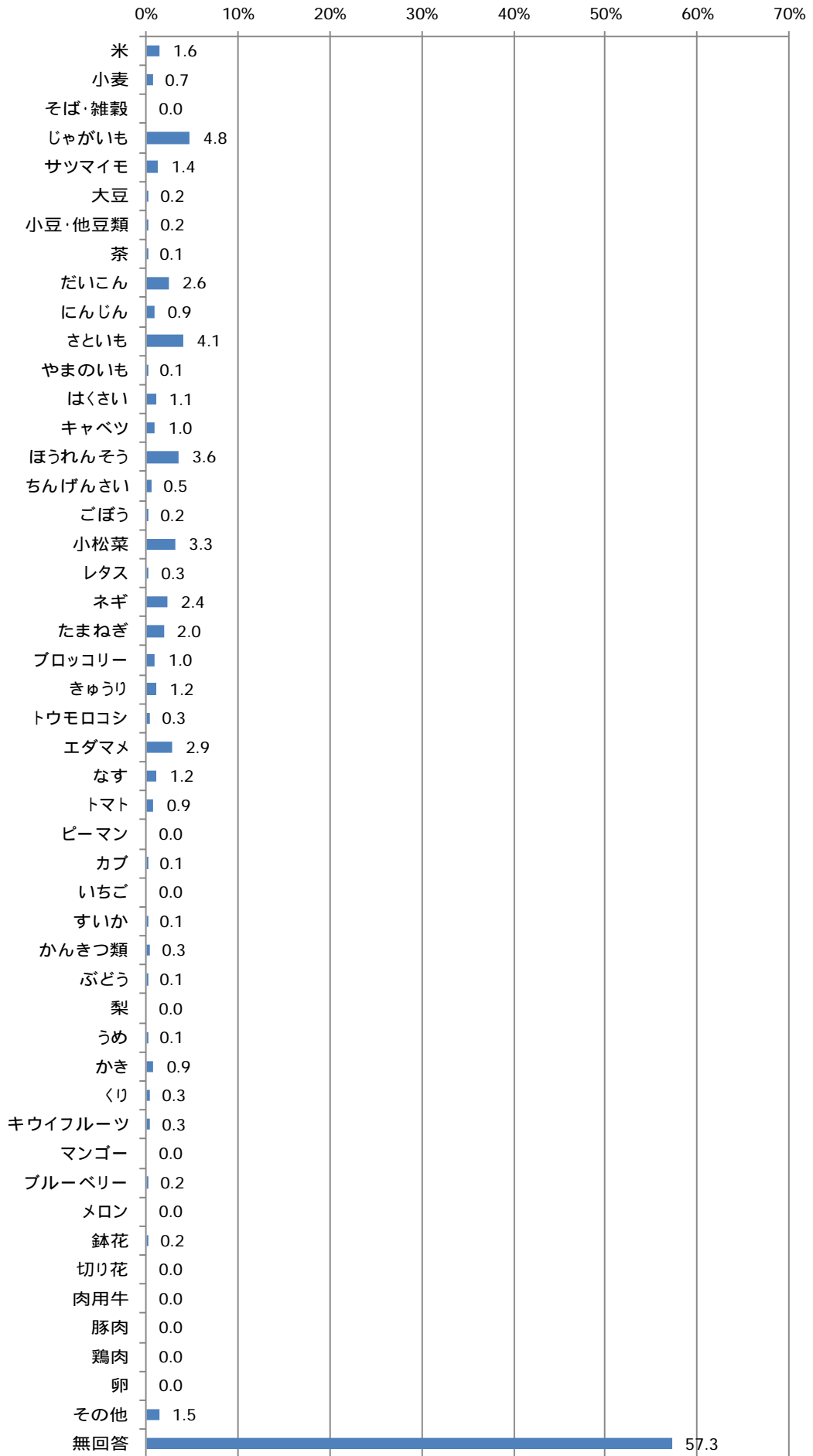
農産物	回答数	割合(%)	農産物	回答数	割合(%)
米	716	43.4%	なす	3	0.2%
小麦	2	0.1%	トマト	14	0.8%
そば・雑穀	1	0.1%	ピーマン	0	0.0%
じゃがいも	37	2.2%	カブ	8	0.5%
サツマイモ	15	0.9%	いちご	1	0.1%
大豆	1	0.1%	すいか	1	0.1%
小豆・他豆類	1	0.1%	かんきつ類	3	0.2%
茶	4	0.2%	ぶどう	13	0.8%
だいこん	16	1.0%	梨	3	0.2%
にんじん	13	0.8%	うめ	5	0.3%
さといも	40	2.4%	かき	4	0.2%
やまのいも	3	0.2%	くり	8	0.5%
はくさい	8	0.5%	キウイフルーツ	0	0.0%
キャベツ	2	0.1%	マンゴー	0	0.0%
ほうれんそう	77	4.7%	ブルーベリー	0	0.0%
ちんげんさい	6	0.4%	メロン	0	0.0%
ごぼう	0	0.0%	鉢花	5	0.3%
小松菜	13	0.8%	切り花	5	0.3%
レタス	2	0.1%	肉用牛	0	0.0%
ネギ	11	0.7%	豚肉	1	0.1%
たまねぎ	13	0.8%	鶏肉	0	0.0%
ブロッコリー	6	0.4%	卵	1	0.1%
きゅうり	9	0.5%	その他	68	4.1%
トウモロコシ	3	0.2%	無回答	492	29.8%
エダマメ	16	1.0%	全体	1,650	100.0%



「ほうれんそう」が3.6%、「小松菜」が3.3%となっている。

2位

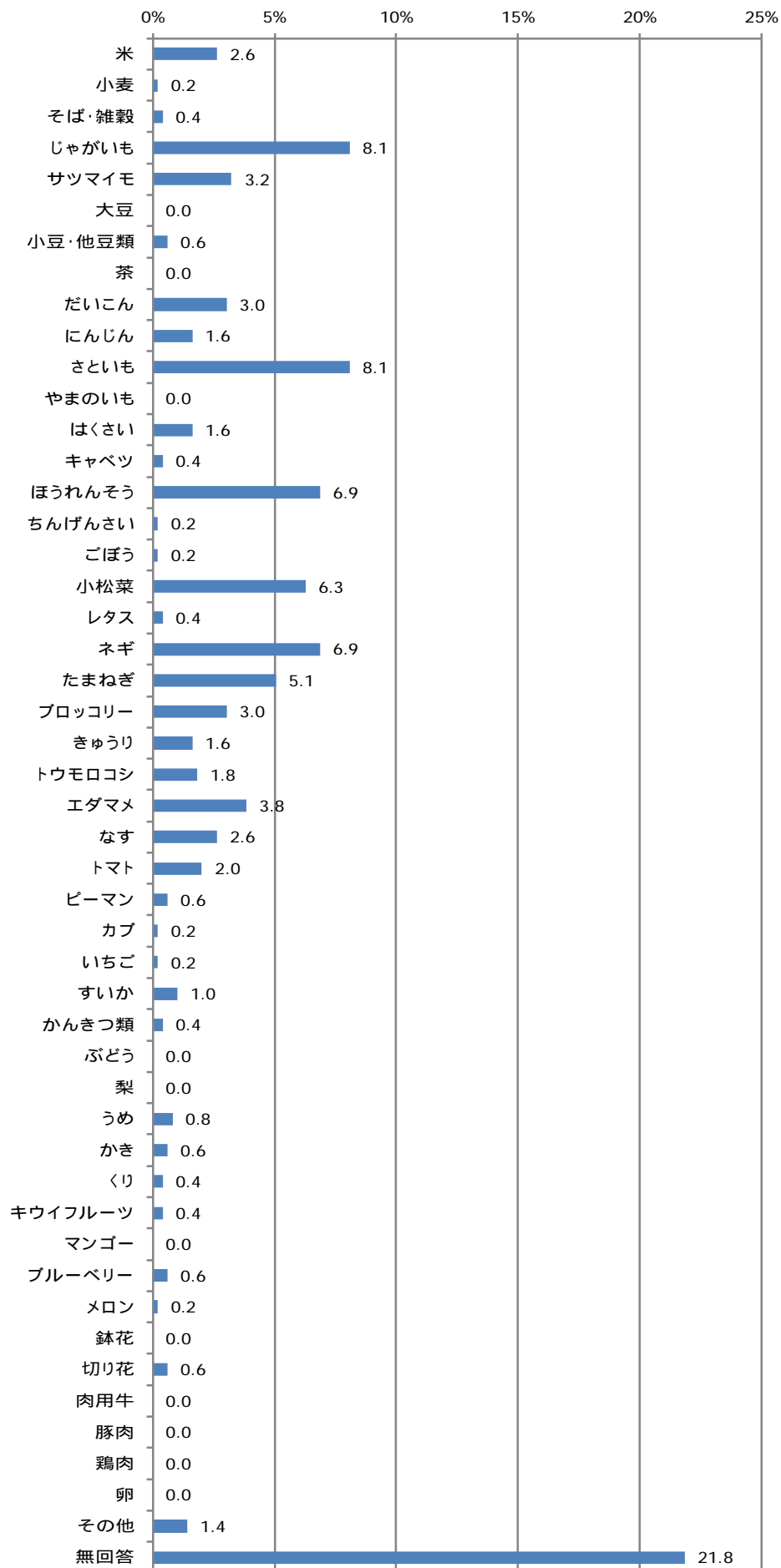
農産物	回答数	割合(%)	農産物	回答数	割合(%)
米	18	1.6%	なす	14	1.2%
小麦	8	0.7%	トマト	10	0.9%
そば・雑穀	0	0.0%	ピーマン	0	0.0%
じゃがいも	56	4.8%	カブ	1	0.1%
サツマイモ	16	1.4%	いちご	0	0.0%
大豆	2	0.2%	すいか	1	0.1%
小豆・他豆類	2	0.2%	かんきつ類	4	0.3%
茶	1	0.1%	ぶどう	1	0.1%
だいこん	30	2.6%	梨	0	0.0%
にんじん	11	0.9%	うめ	1	0.1%
さといも	48	4.1%	かき	10	0.9%
やまのいも	1	0.1%	くり	4	0.3%
はくさい	13	1.1%	キウイフルーツ	4	0.3%
キャベツ	12	1.0%	マンゴー	0	0.0%
ほうれんそう	42	3.6%	ブルーベリー	2	0.2%
ちんげんさい	6	0.5%	メロン	0	0.0%
ごぼう	2	0.2%	鉢花	2	0.2%
小松菜	38	3.3%	切り花	0	0.0%
レタス	3	0.3%	肉用牛	0	0.0%
ネギ	28	2.4%	豚肉	0	0.0%
たまねぎ	23	2.0%	鶏肉	0	0.0%
ブロッコリー	12	1.0%	卵	0	0.0%
きゅうり	14	1.2%	その他	17	1.5%
トウモロコシ	4	0.3%	無回答	663	57.3%
エダマメ	34	2.9%	全体	1,158	100.0%



3位は「じゃがいも」と「さといも」が8.1%と最も多く、次いで「ほうれんそう」「ネギ」が6.9%となっている。

3位

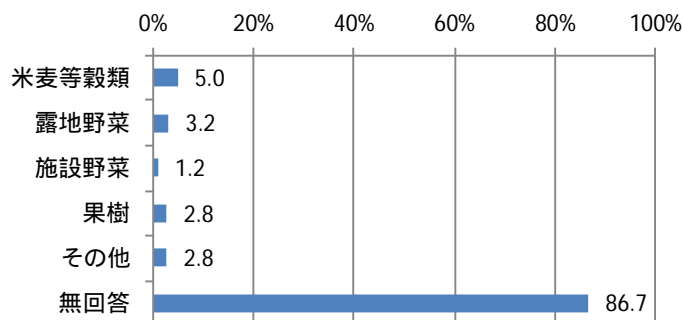
農産物	回答数	割合(%)	農産物	回答数	割合(%)
米	13	2.6%	なす	13	2.6%
小麦	1	0.2%	トマト	10	2.0%
そば・雑穀	2	0.4%	ピーマン	3	0.6%
じゃがいも	40	8.1%	カブ	1	0.2%
サツマイモ	16	3.2%	いちご	1	0.2%
大豆	0	0.0%	すいか	5	1.0%
小豆・他豆類	3	0.6%	かんきつ類	2	0.4%
茶	0	0.0%	ぶどう	0	0.0%
だいこん	15	3.0%	梨	0	0.0%
にんじん	8	1.6%	うめ	4	0.8%
さといも	40	8.1%	かき	3	0.6%
やまのいも	0	0.0%	くり	2	0.4%
はくさい	8	1.6%	キウイフルーツ	2	0.4%
キャベツ	2	0.4%	マンゴー	0	0.0%
ほうれんそう	34	6.9%	ブルーベリー	3	0.6%
ちんげんさい	1	0.2%	メロン	1	0.2%
ごぼう	1	0.2%	鉢花	0	0.0%
小松菜	31	6.3%	切り花	3	0.6%
レタス	2	0.4%	肉用牛	0	0.0%
ネギ	34	6.9%	豚肉	0	0.0%
たまねぎ	25	5.1%	鶏肉	0	0.0%
ブロッコリー	15	3.0%	卵	0	0.0%
きゅうり	8	1.6%	その他	7	1.4%
トウモロコシ	9	1.8%	無回答	108	21.8%
エダマメ	19	3.8%	全体	495	100.0%



問 10 あなたの農業経営において、新たに導入したいとお考えの品目があれば、以下よりお選びいただき、具体的な品目想定があればお書きください。(あてはまるものすべてに)

「米麦等穀類」が5.0%と最も多く、次いで「露地野菜」が3.2%、「果樹」「その他」が2.8%となっている。

農産物の品目	回答数	割合 (%)
米麦等穀類	83	5.0%
露地野菜	52	3.2%
施設野菜	19	1.2%
果樹	47	2.8%
その他	47	2.8%
無回答	1,431	86.7%
全体	1,650	100.0%

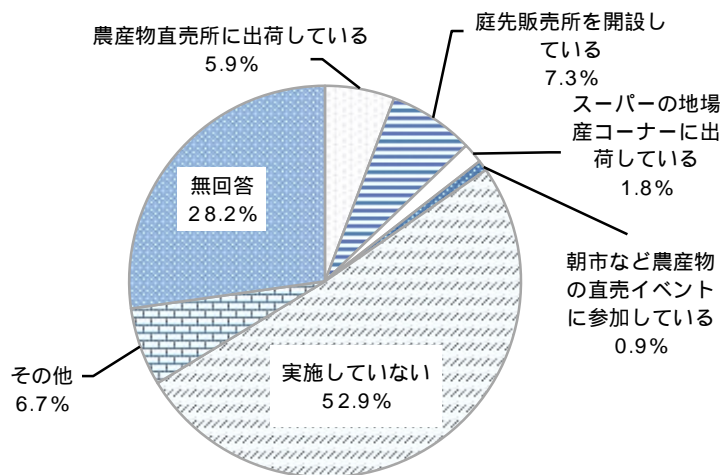


地産地消の取り組みについてお伺いします。

問 11 川越市民などへの農産物の提供(地産地消)の状況をお教えてください。(あてはまるものすべてに)

「実施していない」が52.9%と最も多く、次いで「庭先販売所を開設している」が7.3%、「その他」が6.7%となっている。

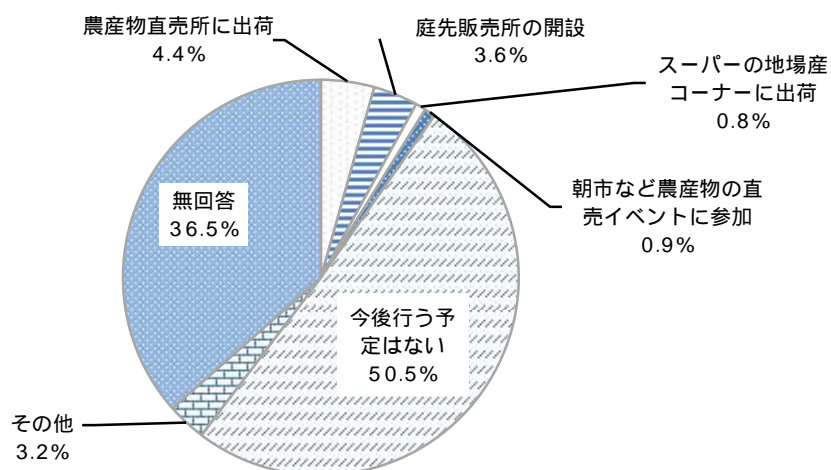
地産地消の農産物の提供状況	回答数	割合 (%)
農産物直売所に出荷している	98	5.9%
庭先販売所を開設している	121	7.3%
スーパーの地場産コーナーに出荷している	29	1.8%
朝市など農産物の直売イベントに参加している	15	0.9%
実施していない	873	52.9%
その他	111	6.7%
無回答	466	28.2%
全体	1,650	100.0%



問 12 川越市民などへの農産物の提供（地産地消）について今後行ってみたいと思うものをお教えてください。（1つに）

「今後行う予定はない」が50.5%と最も多く、次いで「農産物直売所に出荷」が4.4%、「庭先販売所の開設」が3.6%、「その他」が3.2%となっている。

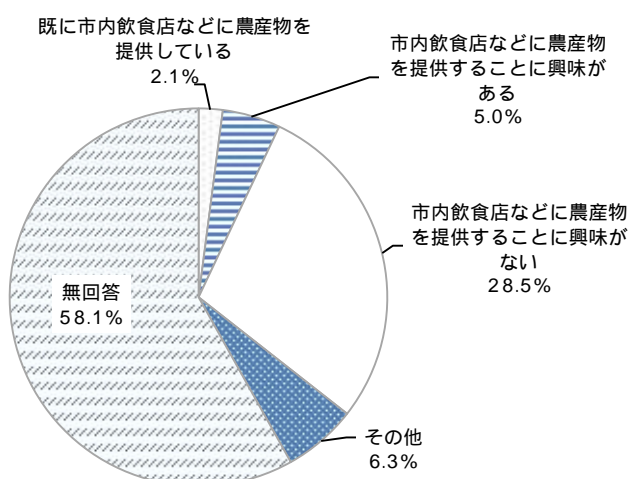
今後行ってみたい地産地消の取組	回答数	割合 (%)
農産物直売所に出荷	72	4.4%
庭先販売所の開設	60	3.6%
スーパーの地場産コーナーに出荷	14	0.8%
朝市など農産物の直売イベントに参加	15	0.9%
今後行う予定はない	834	50.5%
その他	53	3.2%
無回答	602	36.5%
全体	1,650	100.0%



**問 13 市内飲食店、小売店や加工販売店への農産物の提供についてお教えてください。
(1つに)**

「市内飲食店などに農産物を提供することに興味がない」が 28.5%と最も多く、次いで「その他」が 6.3%、「市内飲食店などに農産物を提供することに興味がある」が 5.0%、「既に市内飲食店などに農産物を提供している」が 2.1%となっている。

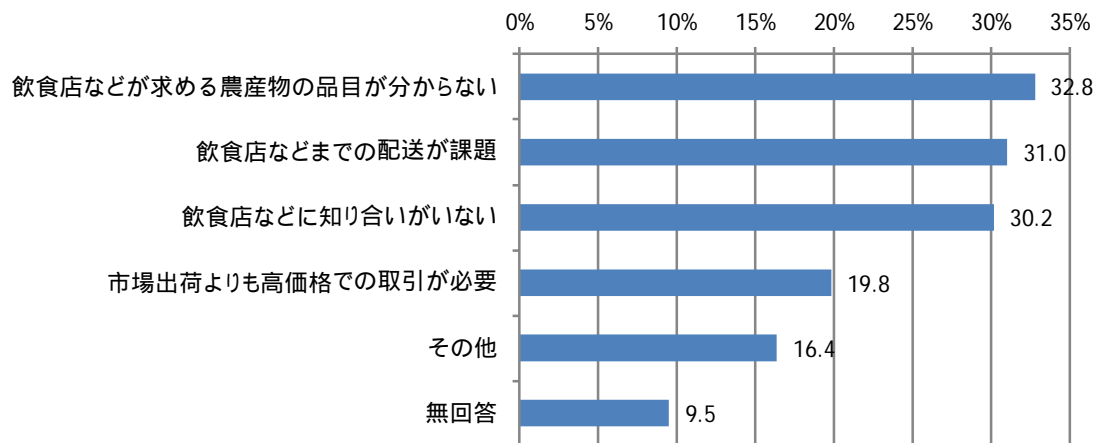
市内の飲食店などへの農産物の提供状況	回答数	割合 (%)
既に市内飲食店などに農産物を提供している	34	2.1%
市内飲食店などに農産物を提供することに興味がある	82	5.0%
市内飲食店などに農産物を提供することに興味がない	471	28.5%
その他	104	6.3%
無回答	959	58.1%
全体	1,650	100.0%



問 14 問 13 で市内飲食店などへの農産物の提供について「既に提供している」「興味がある」と回答した方にお伺いします。市内飲食店などとの取引に向けて課題となるのは何でしょうか。(あてはまるものすべてに)

「飲食店などが求める農産物の品目が分からない」が 32.8%と最も多く、次いで「飲食店などまでの配送が課題」が 31.0%、「飲食店などに知り合いがいない」が 30.2%、「市場出荷よりも高価格での取引が必要」が 19.8%となっている。

市内飲食店との取引の課題	回答数	割合 (%)
飲食店などが求める農産物の品目が分からない	38	32.8%
飲食店などまでの配送が課題	36	31.0%
飲食店などに知り合いがいない	35	30.2%
市場出荷よりも高価格での取引が必要	23	19.8%
その他	19	16.4%
無回答	11	9.5%
全体	116	100.0%



問 15 地産地消について、ご意見があればご記入ください。

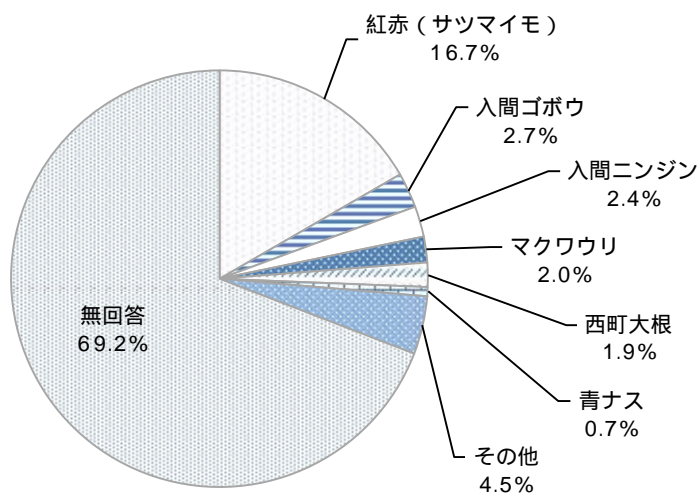
- ・良い取組である(24)
- ・地産地消に取り組むのは難しい(安定的に必要な量を提供できない、人手が足りない、高品質の農産物を生産できない)、取り組む予定はない(22)
- ・品目、ブランド化(8)
- ・販売、価格(6)
- ・食育として地産地消を推進して欲しい(小学生等の給食等)(6)
- ・他の販路が必要である(地産地消では需要の量が少ない、価格が安い)(6)
- ・直売所、道の駅(5)
- ・農業(地産地消)で収益を出すことが難しい(5)
- ・地産地消のPRが必要である(4)
- ・朝市やイベント等の地産地消の機会(4)
- ・農業行政(4)
- ・輸送等のコストが抑えられる、環境に良い取組であると思う(3)
- ・その他(10)
- ・特になし(24)

農産物のブランド化・環境保全型農業についてお伺いします。

問 16 川越の伝統野菜として、生産拡大・復活してみたら良いと思う野菜をお教えてください。
(1つに)

「紅赤(サツマイモ)」が16.7%と最も多く、次いで「その他」が4.5%、「入間ゴボウ」が2.7%、「入間ニンジン」が2.4%となっている。

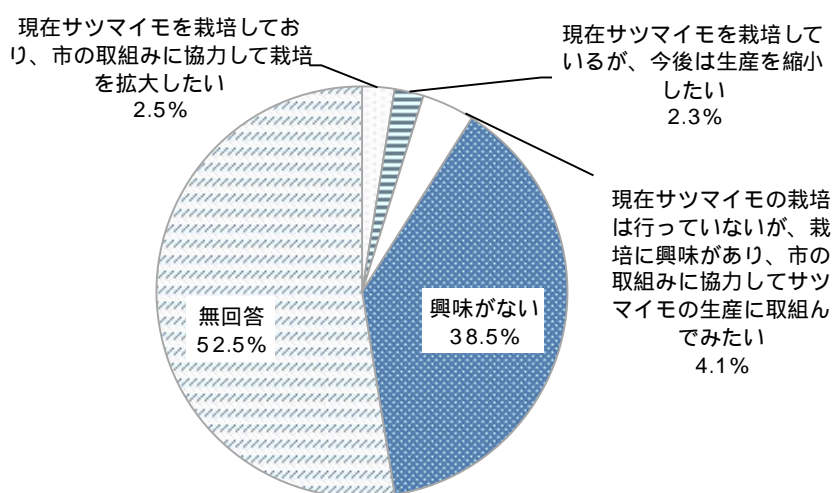
川越の伝統野菜として、生産拡大・復活してみたら良いと思う野菜	回答数	割合(%)
紅赤(サツマイモ)	275	16.7%
入間ゴボウ	45	2.7%
入間ニンジン	39	2.4%
マクワウリ	33	2.0%
西町大根	31	1.9%
青ナス	12	0.7%
その他	74	4.5%
無回答	1,141	69.2%
全体	1,650	100.0%



問 17 市ではサツマイモの産地化を広める取組みとして、サツマイモの栽培地拡大・生産量増加を目指しています。この取組みに対してお考えを教えてください。(1つに)

「興味がない」が 38.5%と最も多く、次いで「現在サツマイモの栽培は行っていないが、栽培に興味があり、市の取組みに協力してサツマイモの生産に取り組んでみたい」が 4.1%、「現在サツマイモを栽培しており、市の取組みに協力して栽培を拡大したい」が 2.5%、「現在サツマイモを栽培しているが、今後は生産を縮小したい」が 2.3%となっている。

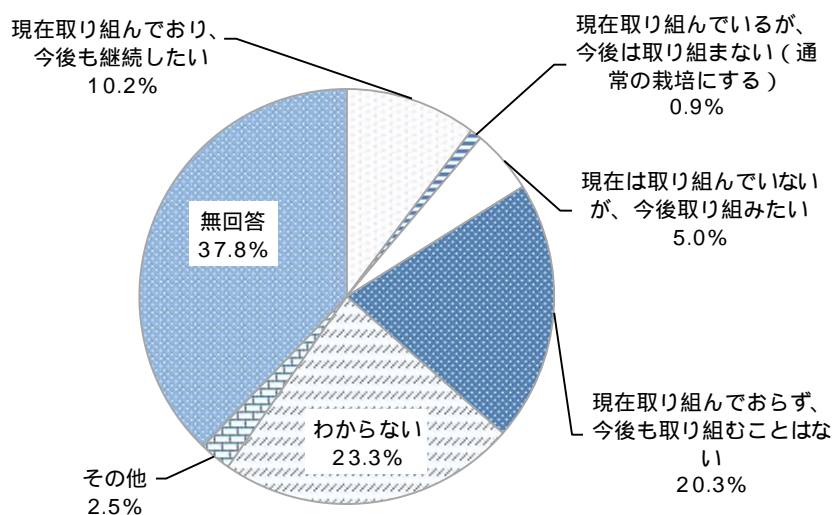
サツマイモ栽培の取組み	回答数	割合 (%)
現在サツマイモを栽培しており、市の取組みに協力して栽培を拡大したい	42	2.5%
現在サツマイモを栽培しているが、今後は生産を縮小したい	38	2.3%
現在サツマイモの栽培は行っていないが、栽培に興味があり、市の取組みに協力してサツマイモの生産に取り組んでみたい	68	4.1%
興味がない	635	38.5%
無回答	867	52.5%
全体	1,650	100.0%



問 18 有機農業など、環境に配慮した農業について、あなたの意向をお選びください。(1つに)

「わからない」が23.3%と最も多く、次いで「現在取り組んでおらず、今後も取り組むことはない」が20.3%、「現在取り組んでおり、今後も継続したい」が10.2%、「現在は取り組んでいないが、今後取り組みたい」が5.0%となっている。

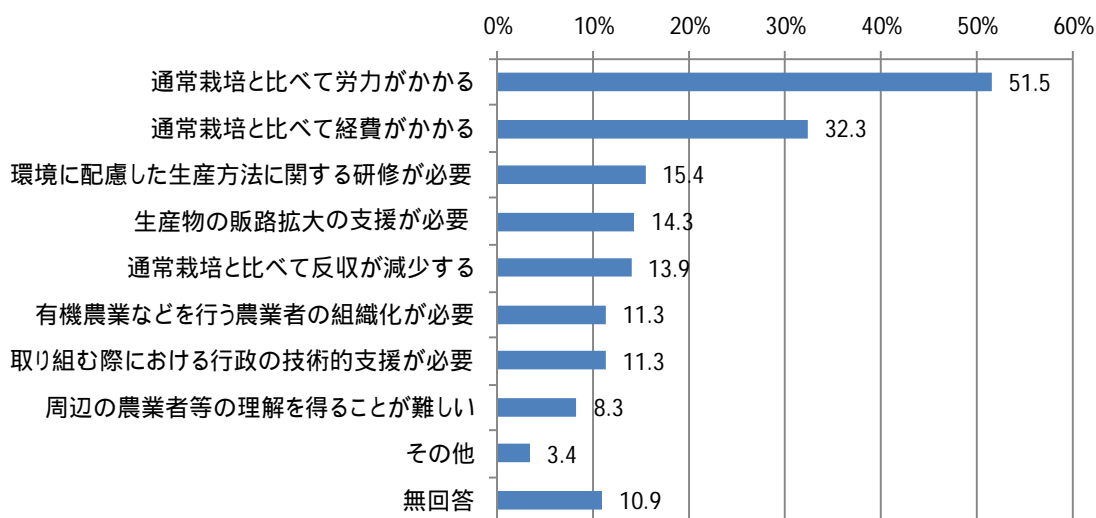
環境に配慮した農業への意向	回答数	割合 (%)
現在取り組んでおり、今後も継続したい	169	10.2%
現在取り組んでいるが、今後は取り組まない(通常の栽培にする)	15	0.9%
現在は取り組んでいないが、今後取り組みたい	82	5.0%
現在取り組んでおらず、今後も取り組むことはない	335	20.3%
わからない	384	23.3%
その他	41	2.5%
無回答	624	37.8%
全体	1,650	100.0%



上記で「(1)(2)(3) 現在取り組んでいる、今後取り組みたい」とお答えの方に、課題等についてお伺いします。以下よりお選びください。(あてはまるものすべてに)

「通常栽培と比べて労力がかかる」が51.5%と最も多く、次いで「通常栽培と比べて経費がかかる」が32.3%、「環境に配慮した生産方法に関する研修が必要」が15.4%、「生産物の販路拡大の支援が必要」が14.3%となっている。

環境に配慮した農業の課題	回答数	割合(%)
通常栽培と比べて労力がかかる	137	51.5%
通常栽培と比べて経費がかかる	86	32.3%
環境に配慮した生産方法に関する研修が必要	41	15.4%
生産物の販路拡大の支援が必要	38	14.3%
通常栽培と比べて反収が減少する	37	13.9%
有機農業などを行う農業者の組織化が必要	30	11.3%
取り組む際における行政の技術的支援が必要	30	11.3%
周辺の農業者等の理解を得ることが難しい	22	8.3%
その他	9	3.4%
無回答	29	10.9%
全体	266	100.0%

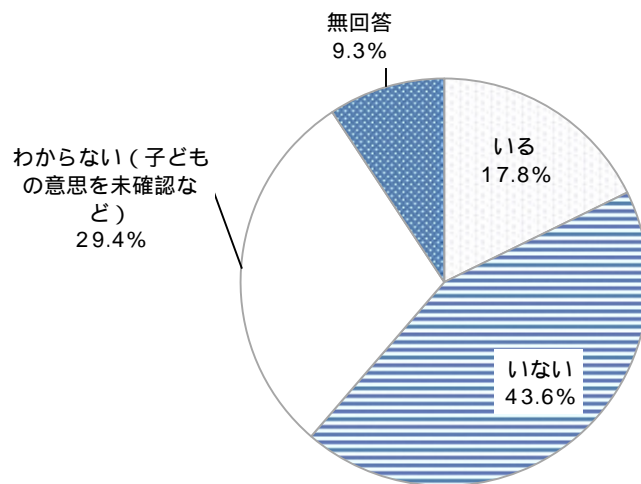


農業の担い手についてお伺いします。

問 19 あなたには現在、農業の後継者がいますか。(1つに)

「いない」が43.6%と最も多く、次いで「わからない(子どもの意思を未確認など)」が29.3%、「いる」が17.8%となっている。

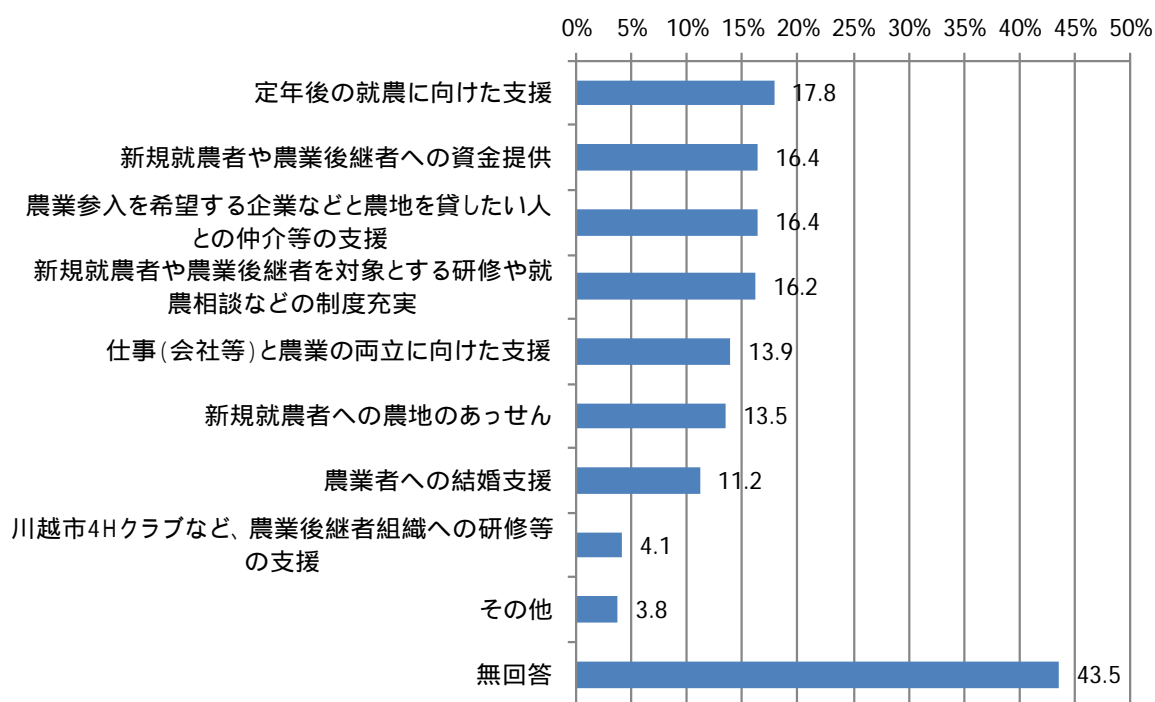
農業の後継者	回答数	割合(%)
いる	293	17.8%
いない	719	43.6%
わからない(子どもの意思を未確認など)	485	29.4%
無回答	153	9.3%
全体	1,650	100.0%



問 20 新規就農者・農業後継者の育成に向けて、必要な支援を教えてください。(3つまで)

「定年後の就農に向けた支援」が17.8%と最も多く、次いで「新規就農者や農業後継者への資金提供」「農業参入を希望する企業などと農地を貸したい人との仲介等の支援」が16.4%、「新規就農者や農業後継者を対象とする研修や就農相談などの制度充実」が16.2%となっている。

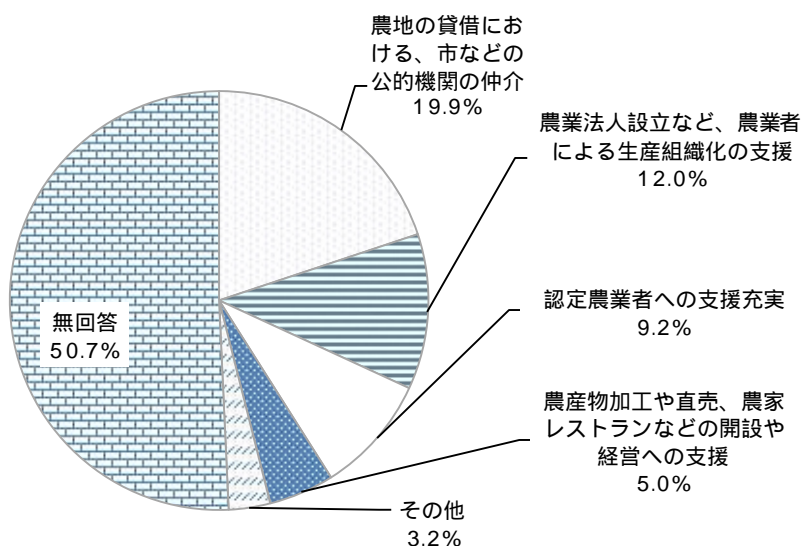
新規就農者・農業後継者の育成に向けて、必要な支援	回答数	割合(%)
定年後の就農に向けた支援	294	17.8%
新規就農者や農業後継者への資金提供	270	16.4%
農業参入を希望する企業などと農地を貸したい人との仲介等の支援	270	16.4%
新規就農者や農業後継者を対象とする研修や就農相談などの制度充実	267	16.2%
仕事(会社等)と農業の両立に向けた支援	230	13.9%
新規就農者への農地のあっせん	222	13.5%
農業者への結婚支援	184	11.2%
川越市4Hクラブなど、農業後継者組織への研修等の支援	68	4.1%
その他	62	3.8%
無回答	718	43.5%
全体	1,650	100.0%



問 21 担い手の育成・確保に向けてどのような支援が必要とお考えになりますか。(1つに)

「農地の貸借における、市などの公的機関の仲介」が 19.9%と最も多く、次いで「農業法人設立など、農業者による生産組織化の支援」が 12.0%、「認定農業者への支援充実」が 9.2%、「農産物加工や直売、農家レストランなどの開設や経営への支援」が 5.0%となっている。

担い手の育成・確保に向けて必要な支援	回答数	割合 (%)
農地の貸借における、市などの公的機関の仲介	328	19.9%
農業法人設立など、農業者による生産組織化の支援	198	12.0%
認定農業者への支援充実	151	9.2%
農産物加工や直売、農家レストランなどの開設や経営への支援	83	5.0%
その他	53	3.2%
無回答	837	50.7%
全体	1,650	100.0%

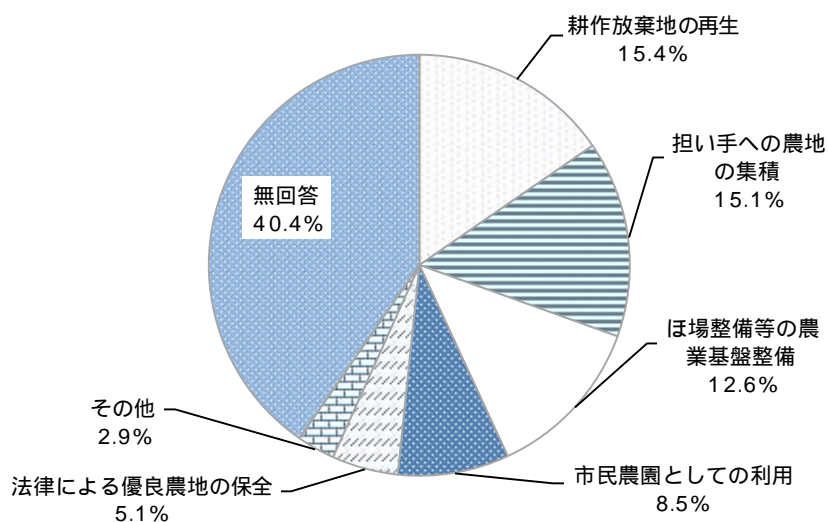


農地についてお伺いします。

問 22 農地を保全するために必要と思うものをお教えてください。(1つに)

「耕作放棄地の再生」が 15.4%と最も多く、次いで「担い手への農地の集積」が 15.1%、「ほ場整備等の農業基盤整備」が 12.6%、「市民農園としての利用」が 8.5%となっている。

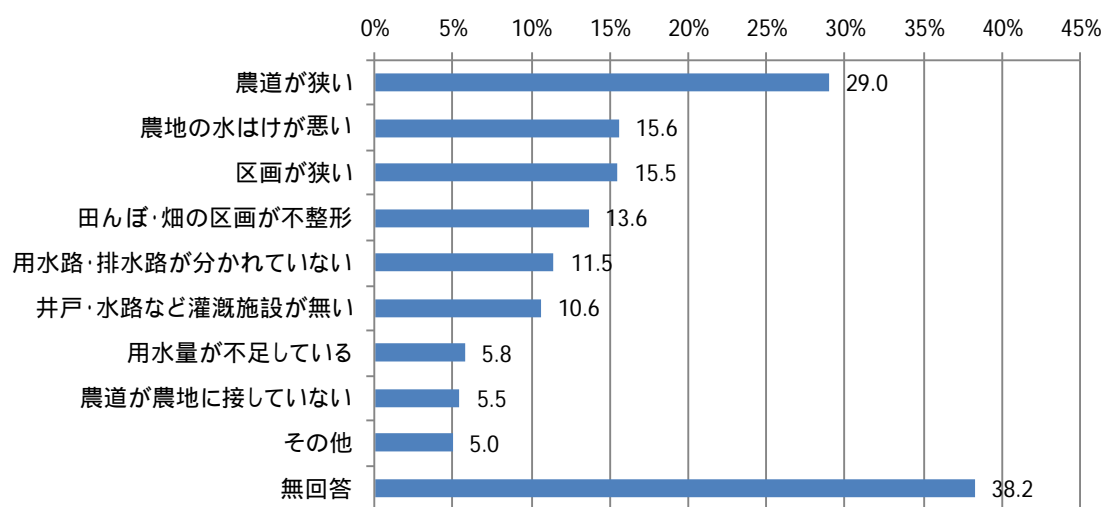
農地保全のために必要なこと	回答数	割合 (%)
耕作放棄地の再生	254	15.4%
担い手への農地の集積	249	15.1%
ほ場整備等の農業基盤整備	208	12.6%
市民農園としての利用	141	8.5%
法律による優良農地の保全	84	5.1%
その他	48	2.9%
無回答	666	40.4%
全体	1,650	100.0%



問 23 現在の農業基盤について改善が必要と考えることをお教えください。(3つまで)

「農道が狭い」が29.0%と最も多く、次いで「農地の水はけが悪い」が15.6%、「区画が狭い」が15.5%、「田んぼ・畑の区画が不整形」が13.6%となっている。

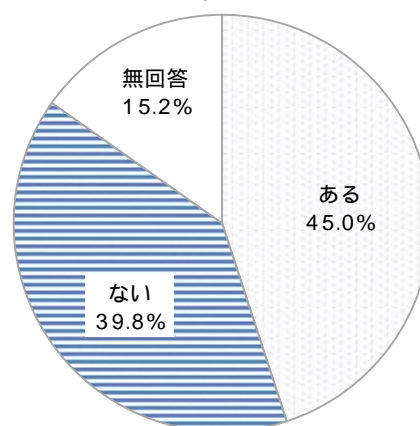
改善が必要な農業基盤	回答数	割合(%)
農道が狭い	478	29.0%
農地の水はけが悪い	257	15.6%
区画が狭い	256	15.5%
田んぼ・畑の区画が不整形	225	13.6%
用水路・排水路が分かれていない	189	11.5%
井戸・水路など灌漑施設が無い	175	10.6%
用水量が不足している	95	5.8%
農道が農地に接していない	90	5.5%
その他	82	5.0%
無回答	631	38.2%
全体	1,650	100.0%



問 24 あなたが所有している農地で耕作していない農地はありますか。(1つに)

「ある」が45.0%と最も多く、次いで「ない」が39.8%となっている。

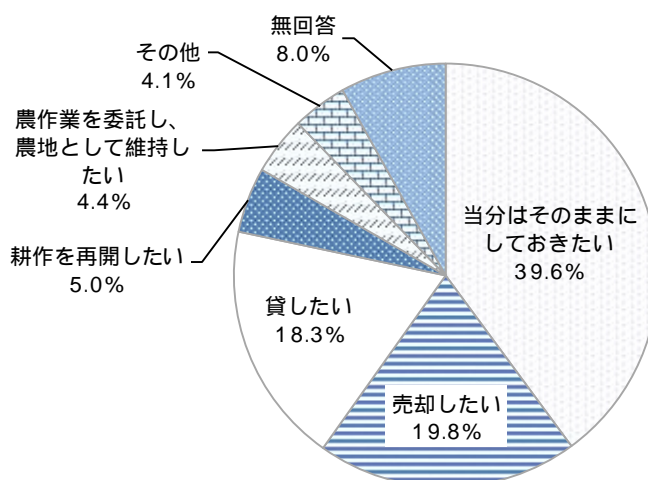
耕作していない農地	回答数	割合 (%)
ある	742	45.0%
ない	657	39.8%
無回答	251	15.2%
全体	1,650	100.0%



上記で「(1)ある」とお答えの方は、今後どのように利用したいですか。(1つに)

「当分はそのままにしておきたい」が39.6%と最も多く、次いで「売却したい」が19.8%、「貸したい」が18.3%、「耕作を再開したい」が5.0%となっている。

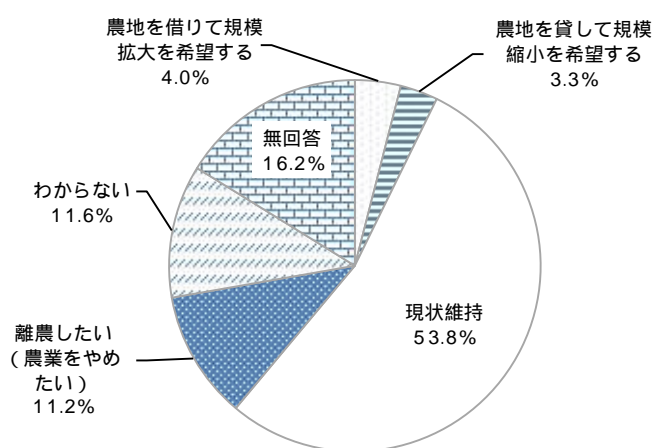
耕作していない農地の今後の利用法	回答数	割合 (%)
当分はそのままにしておきたい	296	39.6%
売却したい	148	19.8%
貸したい	137	18.3%
耕作を再開したい	37	5.0%
農作業を委託し、農地として維持したい	33	4.4%
その他	31	4.1%
無回答	60	8.0%
全体	747	100.0%



問 25 今後の農地の拡大・縮小の意向をお教えてください。(1つに) (1)(2)を選択された方は数字も記入してください。(注)1反は10aとしてください。

「現状維持」が53.8%と最も多く、次いで「わからない」が11.6%、「離農したい(農業をやめたい)」が11.2%、「農地を借りて規模拡大を希望する」が4.0%となっている。

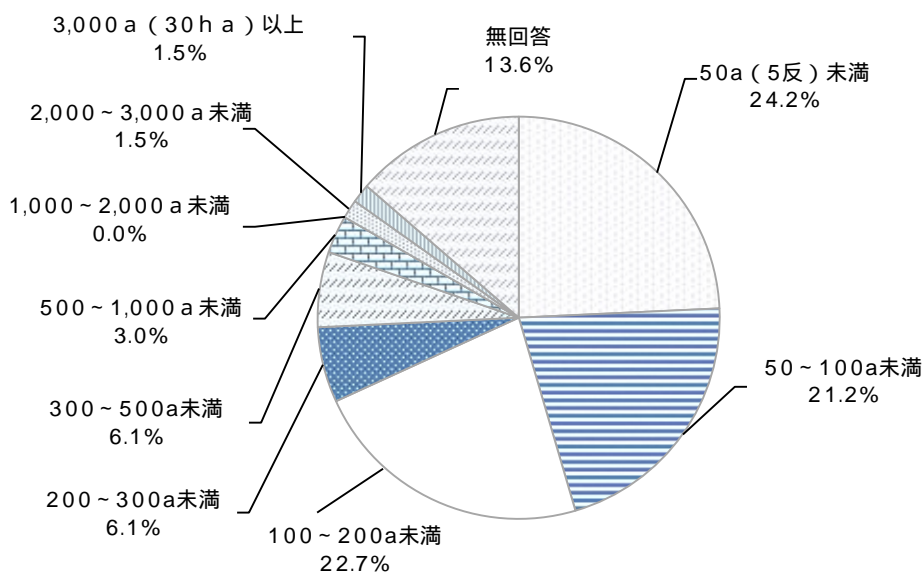
今後の農地の拡大・縮小の意向	回答数	割合(%)
農地を借りて規模拡大を希望する	66	4.0%
農地を貸して規模縮小を希望する	54	3.3%
現状維持	888	53.8%
離農したい(農業をやめたい)	184	11.2%
わからない	191	11.6%
無回答	267	16.2%
全体	1,650	100.0%



【拡大を希望する面積】

「50a(5反)未満」が24.2%と最も多く、次いで「100～200a未満」が22.7%、「50～100a未満」が21.2%となっている。

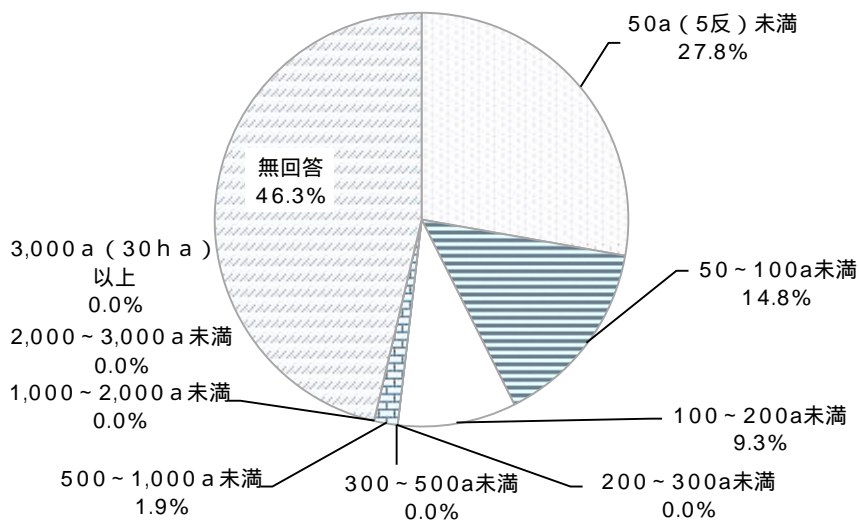
増加区分	回答数	割合(%)
50a(5反)未満	16	24.2%
50～100a未満	14	21.2%
100～200a未満	15	22.7%
200～300a未満	4	6.1%
300～500a未満	4	6.1%
500～1,000a未満	2	3.0%
1,000～2,000a未満	0	0.0%
2,000～3,000a未満	1	1.5%
3,000a(30ha)以上	1	1.5%
無回答	9	13.6%
全体	66	100.0%



【縮小を希望する面積】

「50a(5反)未満」が27.8%と最も多く、次いで「50～100a未満」が14.8%、「100～200a未満」が9.3%となっている。

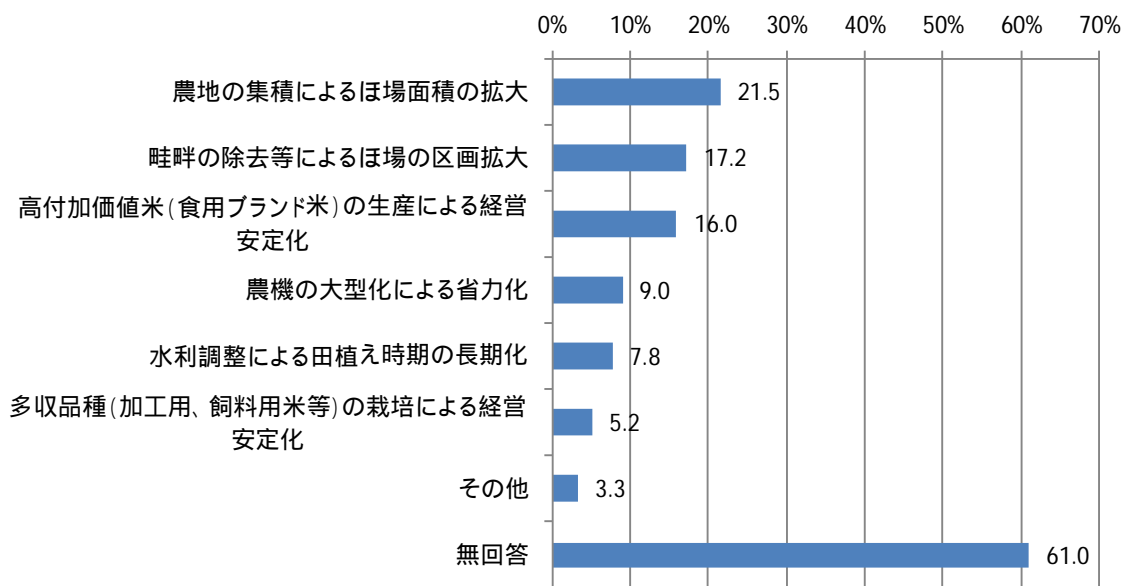
減少区分	回答数	割合(%)
50a(5反)未満	15	27.8%
50～100a未満	8	14.8%
100～200a未満	5	9.3%
200～300a未満	0	0.0%
300～500a未満	0	0.0%
500～1,000a未満	1	1.9%
1,000～2,000a未満	0	0.0%
2,000～3,000a未満	0	0.0%
3,000a(30ha)以上	0	0.0%
無回答	25	46.3%
総数	54	100.0%



問 26 水稲を栽培する方にお伺いします。担い手の農業者等が経営規模を拡大するためにはどういった施策が必要とお考えになりますか。(3つまで)

「農地の集積によるほ場面積の拡大」が21.5%と最も多く、次いで「畦畔の除去等によるほ場の区画拡大」が17.2%、「高付加価値米(食用ブランド米)の生産による経営安定化」が16.0%、「農機の大型化による省力化」が9.0%となっている。

担い手が経営規模を拡大するのに必要な施策	回答数	割合(%)
農地の集積によるほ場面積の拡大	355	21.5%
畦畔の除去等によるほ場の区画拡大	284	17.2%
高付加価値米(食用ブランド米)の生産による経営安定化	264	16.0%
農機の大型化による省力化	148	9.0%
水利調整による田植え時期の長期化	128	7.8%
多収品種(加工用、飼料用米等)の栽培による経営安定化	85	5.2%
その他	55	3.3%
無回答	1,007	61.0%
全体	1,650	100.0%

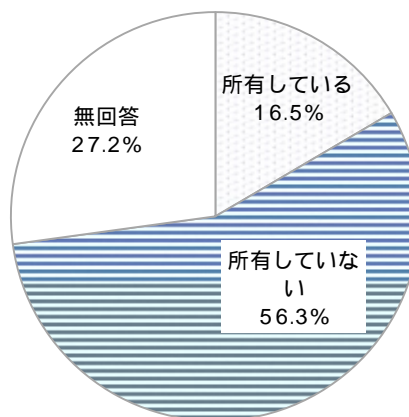


生産緑地についてお伺いします。

問 27 生産緑地の所有の有無についてお教えてください。(1つに)

「所有していない」が 56.3%と最も多く、次いで「所有している」が 16.5%となっている。

生産緑地の所有	回答数	割合 (%)
所有している	273	16.5%
所有していない	929	56.3%
無回答	448	27.2%
全体	1,650	100.0%



上記で「(1) 所有している」とお答えの方にお尋ねします。

問 27-1 規模を教えてください。(単位は特別に記載している場合以外は a)

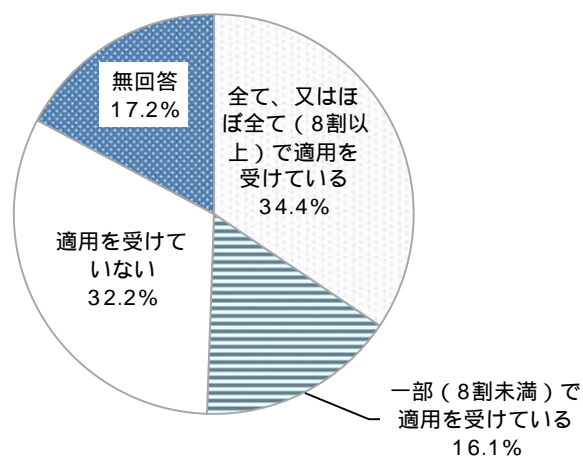
0.3
0.5
1.3
1.5
2.5
3
4(2)
5(4)
5.2
5.4
5.6
6(2)
7(3)
8(2)
9(2)
10(25)
10.4
11(2)
12(3)
13(4)
14
15(6)
16(2)
17(2)

18
20(21)
24(2)
25(6)
30(17)
31
33
35(4)
40(11)
45(2)
47
48
50(14)
53
60(11)
65(2)
70(6)
75
77
80(3)
90(2)
100(8)
110(3)
120
130(2)
137
150
160
170(3)
180
190
200
300
700
1034
2000
200 m ²
3 反位
白地 20a 緑地 25
約 200

問 27-2 生産緑地の相続税納税猶予の適用を受けていますか。(1つに)

「全て、又はほぼ全て(8割以上)で適用を受けている」が34.4%と最も多く、次いで「適用を受けていない」が32.2%、「一部(8割未満)で適用を受けている」が16.1%となっている。

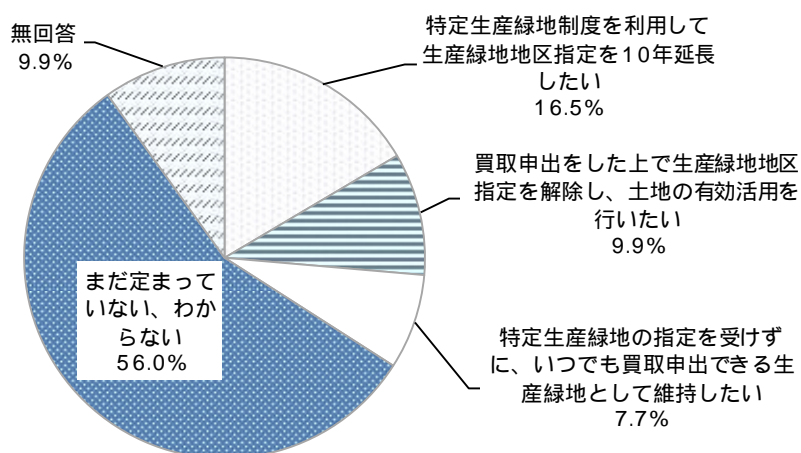
生産緑地の相続税納税猶予の適用	回答数	割合(%)
全て、又はほぼ全て(8割以上)で適用を受けている	94	34.4%
一部(8割未満)で適用を受けている	44	16.1%
適用を受けていない	88	32.2%
無回答	47	17.2%
全体	273	100.0%



問 28 2022 年度以降、多くの生産緑地地区で買取申出要件である指定後 30 年を経過しますが、あなたの所有する生産緑地について、指定から 30 年後の利用意向についてお教えてください。(1つに)

「まだ定まっていない、わからない」が 56.0%と最も多く、次いで「特定生産緑地制度を利用して生産緑地地区指定を 10 年延長したい」が 16.5%、「買取申出をした上で生産緑地地区指定を解除し、土地の有効活用を行いたい」が 9.9%、「特定生産緑地の指定を受けずに、いつでも買取申出できる生産緑地として維持したい」が 7.7%となっている。

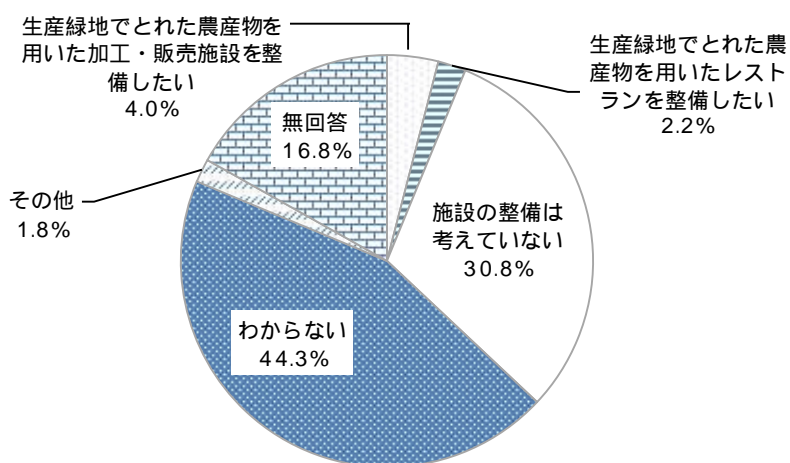
生産緑地の指定から 30 年後の利用意向	回答数	割合 (%)
特定生産緑地制度を利用して生産緑地地区指定を 10 年延長したい	45	16.5%
買取申出をした上で生産緑地地区指定を解除し、土地の有効活用を行いたい	27	9.9%
特定生産緑地の指定を受けずに、いつでも買取申出できる生産緑地として維持したい	21	7.7%
まだ定まっていない、わからない	153	56.0%
無回答	27	9.9%
全体	273	100.0%



問 29 生産緑地法の改正により、生産緑地地区内に農産物直売所や農家レストラン等の設置ができるようになりました。これらについて、どのようにお考えですか。(1つに)

「わからない」が44.3%と最も多く、次いで「施設の整備は考えていない」が30.8%、「生産緑地でとれた農産物を用いた加工・販売施設を整備したい」が4.0%、「生産緑地でとれた農産物を用いたレストランを整備したい」が2.2%となっている。

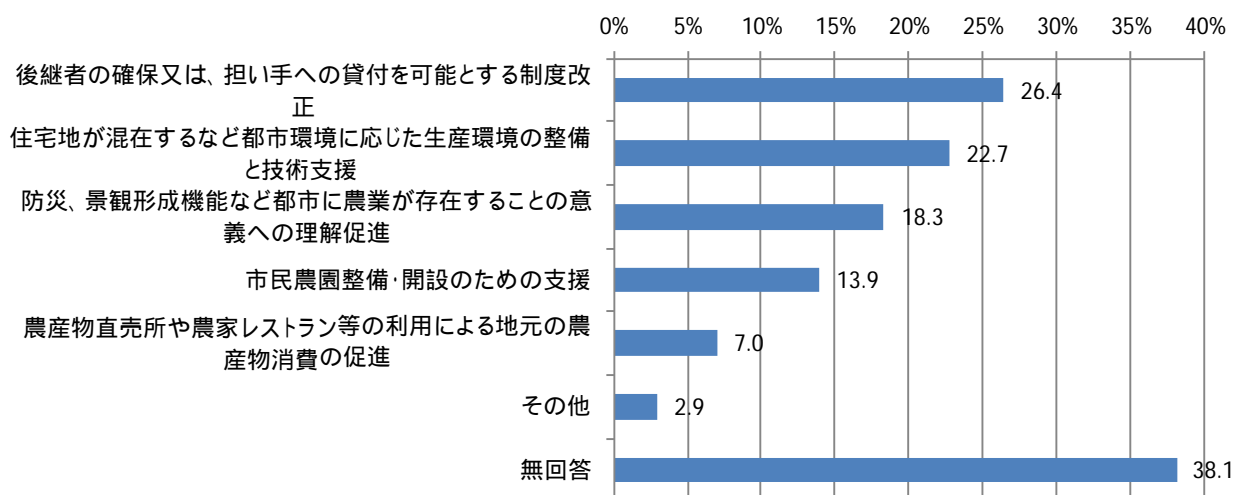
法改正を受けての生産緑地地区内の利用	回答数	割合(%)
生産緑地でとれた農産物を用いた加工・販売施設を整備したい	11	4.0%
生産緑地でとれた農産物を用いたレストランを整備したい	6	2.2%
施設の整備は考えていない	84	30.8%
わからない	121	44.3%
その他	5	1.8%
無回答	46	16.8%
全体	273	100.0%



問 30 生産緑地の維持に必要と思われる施策についてお答えください。(あてはまるものすべてに)

「後継者の確保又は、担い手への貸付を可能とする制度改正」が26.4%と最も多く、次いで「住宅地が混在するなど都市環境に応じた生産環境の整備と技術支援」が22.7%、「防災、景観形成機能など都市に農業が存在することの意義への理解促進」が18.3%、「市民農園整備・開設のための支援」が13.9%となっている。

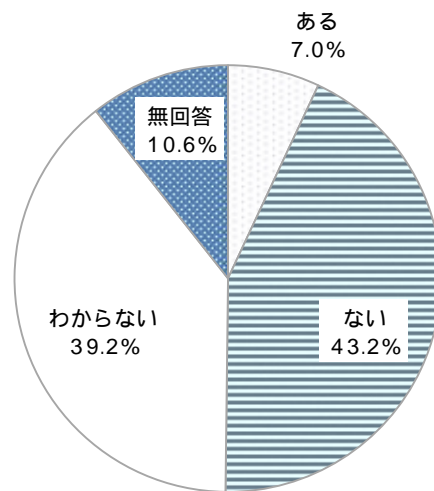
生産緑地の維持に必要と思われる施策	回答数	割合(%)
後継者の確保又は、担い手への貸付を可能とする制度改正	72	26.4%
住宅地が混在するなど都市環境に応じた生産環境の整備と技術支援	62	22.7%
防災、景観形成機能など都市に農業が存在することの意義への理解促進	50	18.3%
市民農園整備・開設のための支援	38	13.9%
農産物直売所や農家レストラン等の利用による地元の農産物消費の促進	19	7.0%
その他	8	2.9%
無回答	104	38.1%
全体	273	100.0%



問 31 生産緑地法の改正により、市が条例を定めることで生産緑地地区の指定面積要件を「500㎡」から「300㎡」に引き下げることができるようになりました。それを受け、新たに生産緑地地区への指定を希望する農地はありますか。(1つに)

「ない」が43.2%と最も多く、次いで「わからない」が39.2%、「ある」が7.0%となっている。

法改正を受けて新たに生産緑地地区への指定を希望する農地	回答数	割合(%)
ある	19	7.0%
ない	118	43.2%
わからない	107	39.2%
無回答	29	10.6%
全体	273	100.0%

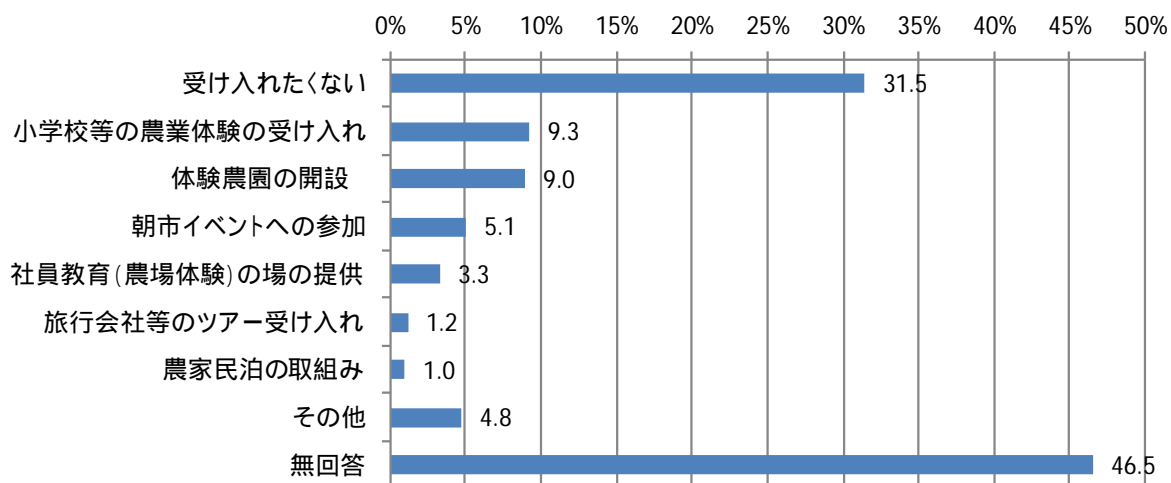


農業従事者以外の方々との交流についてお伺いします。

問 32 農業者以外の方々との交流について、どのような形であれば受け入れ・参画しても良いとお考えになりますか。(3つまで)

「受け入れたくない」が31.5%と最も多く、次いで「小学校等の農業体験の受け入れ」が9.3%、「体験農園の開設」が9.0%、「朝市イベントへの参加」が5.1%となっている。

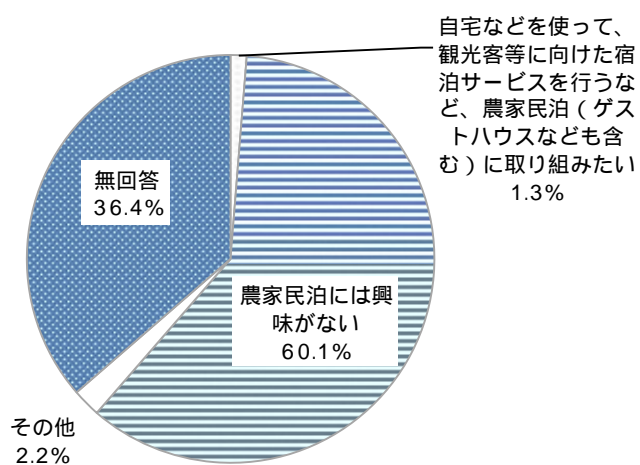
農業者以外の方々との交流	回答数	割合(%)
受け入れたくない	519	31.5%
小学校等の農業体験の受け入れ	153	9.3%
体験農園の開設	148	9.0%
朝市イベントへの参加	84	5.1%
社員教育(農場体験)の場の提供	55	3.3%
旅行会社等のツアー受け入れ	20	1.2%
農家民泊の取組み	17	1.0%
その他	79	4.8%
無回答	768	46.5%
全体	1,650	100.0%



問 33 農家民泊について、取り組んでみたいと思いますか。(1つに)

「農家民泊には興味がない」が60.1%と最も多く、次いで「その他」が2.2%、「自宅などを使って、観光客等に向けた宿泊サービスを行うなど、農家民泊(ゲストハウスなども含む)に取り組みたい」が1.3%となっている。

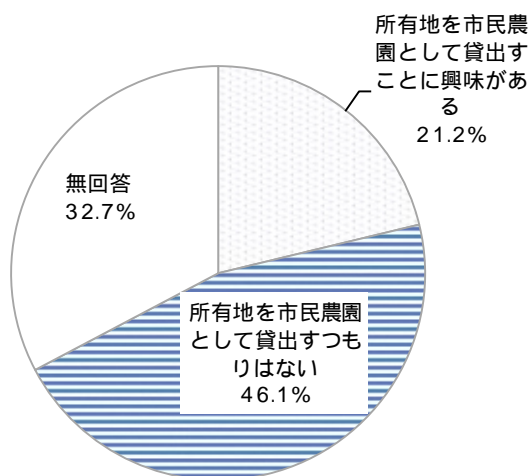
農家民泊について	回答数	割合(%)
自宅などを使って、観光客等に向けた宿泊サービスを行うなど、農家民泊(ゲストハウスなども含む)に取り組みたい	21	1.3%
農家民泊には興味がない	992	60.1%
その他	37	2.2%
無回答	600	36.4%
全体	1,650	100.0%



問 34 市民農園として、農地を貸出すことについて教えてください。(1つに)

「所有地を市民農園として貸出すつもりはない」が46.1%と最も多く、次いで「所有地を市民農園として貸出すことに興味がある」が21.2%となっている。

市民農園として、農地を貸出すことについて	回答数	割合 (%)
所有地を市民農園として貸出すことに興味がある	350	21.2%
所有地を市民農園として貸出すつもりはない	760	46.1%
無回答	540	32.7%
全体	1,650	100.0%

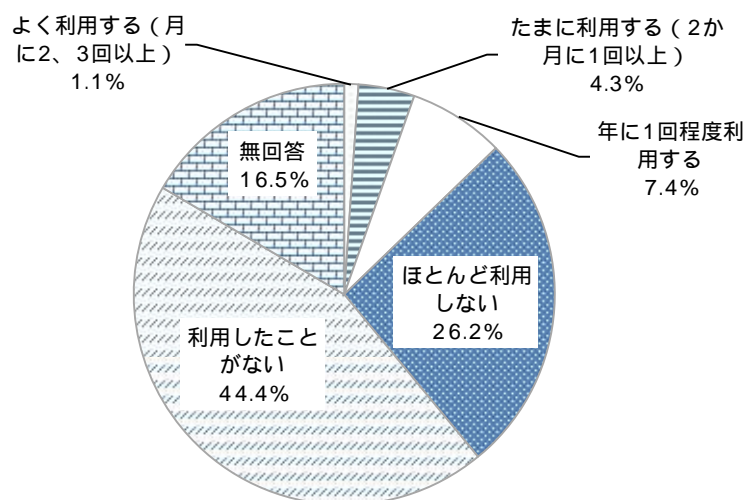


市の施策についてお伺いします。

問 35 川越市農業ふれあいセンターの利用頻度についてお伺いします。(1つに)

「利用したことがない」が44.4%と最も多く、次いで「ほとんど利用しない」が26.2%、「年に1回程度利用する」が7.4%、「たまに利用する(2か月に1回以上)」が4.3%となっている。

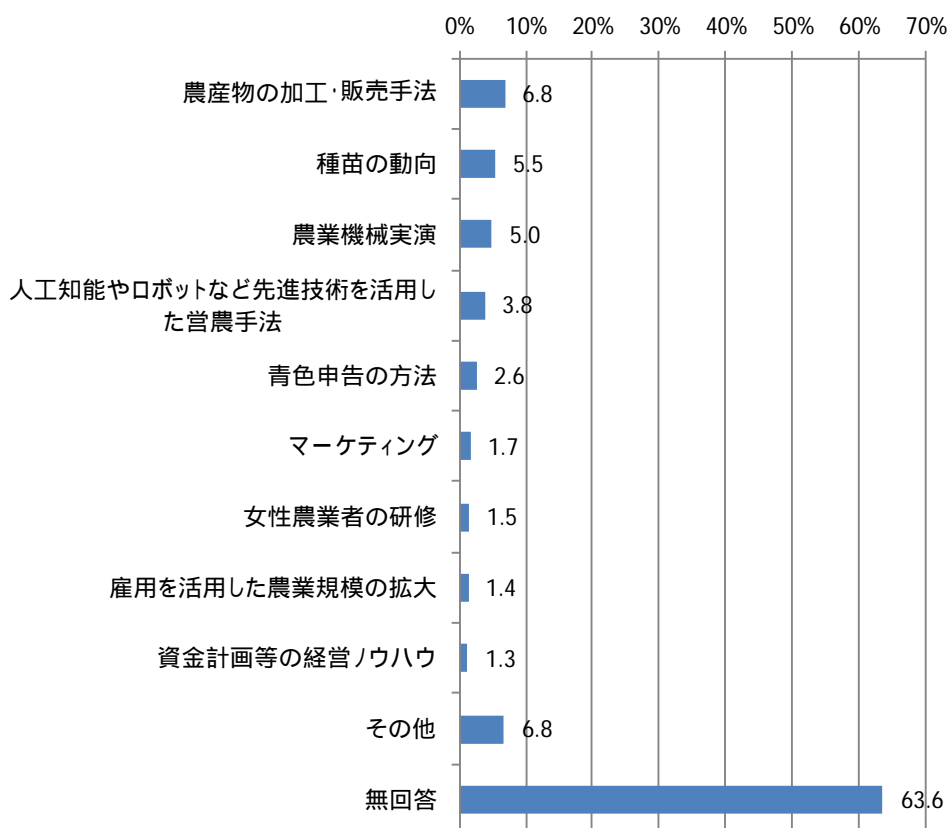
川越市農業ふれあいセンターの利用頻度	回答数	割合(%)
よく利用する(月に2、3回以上)	18	1.1%
たまに利用する(2か月に1回以上)	71	4.3%
年に1回程度利用する	122	7.4%
ほとんど利用しない	433	26.2%
利用したことがない	733	44.4%
無回答	273	16.5%
全体	1,650	100.0%



問 36 川越市農業ふれあいセンターは農業者の皆様の研修の場になっています。こういった内容の研修（講習）に参加してみたいですか。（1つに ）

「農産物の加工・販売手法」「その他」が6.8%と最も多く、次いで「種苗の動向」が5.5%、「農業機械実演」が5.0%となっている。

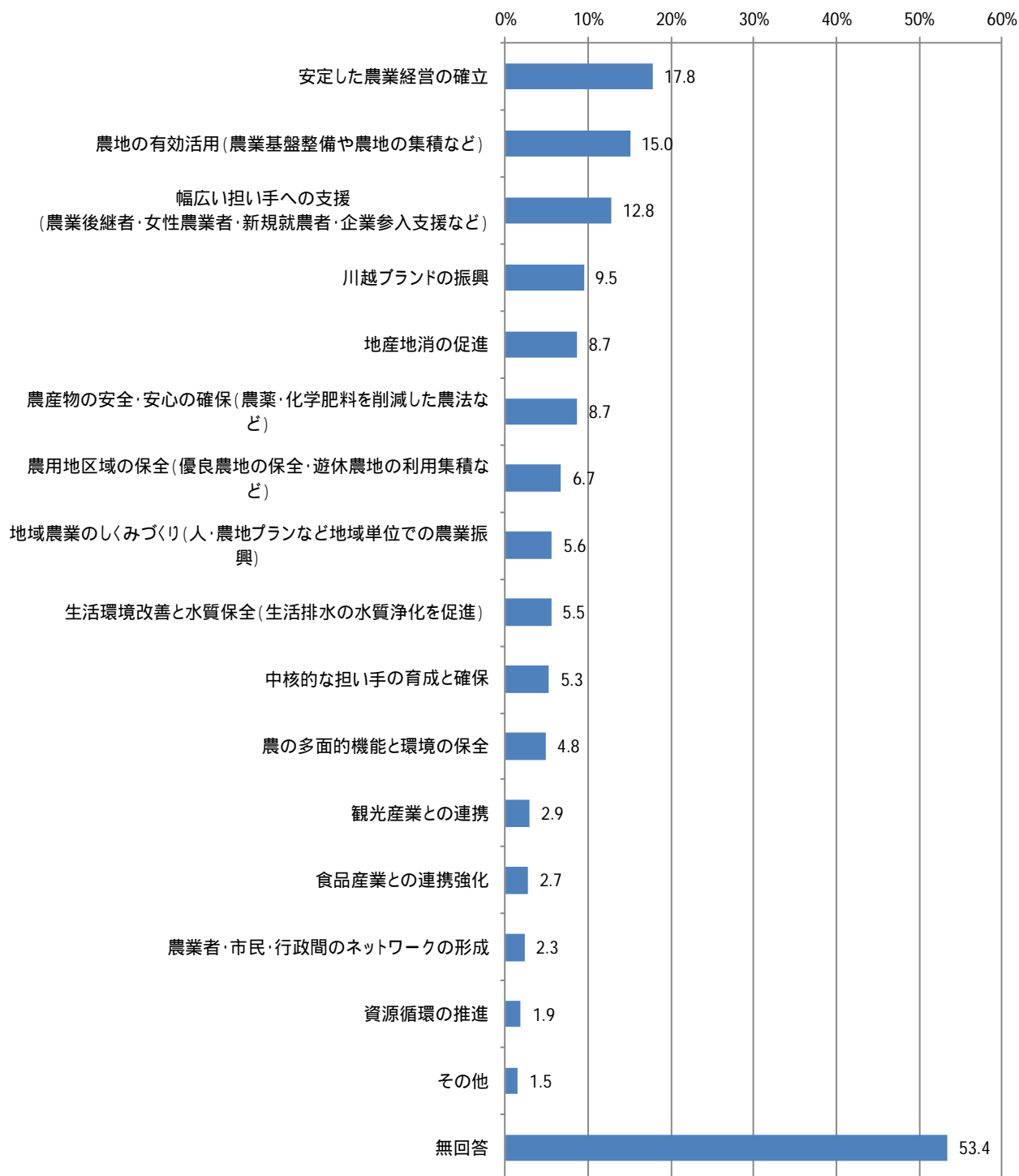
川越市農業ふれあいセンターで参加してみたい研修内容	回答数	割合(%)
農産物の加工・販売手法	113	6.8%
種苗の動向	90	5.5%
農業機械実演	82	5.0%
人工知能やロボットなど先進技術を活用した営農手法	63	3.8%
青色申告の方法	43	2.6%
マーケティング	28	1.7%
女性農業者の研修	25	1.5%
雇用を活用した農業規模の拡大	23	1.4%
資金計画等の経営ノウハウ	22	1.3%
その他	112	6.8%
無回答	1,049	63.6%
全体	1,650	100.0%



問 37 川越市の農業振興施策全般について、今後特に充実すべきとお考えの内容を、以下よりお選びください。(3つまで)

「安定した農業経営の確立」が17.8%と最も多く、次いで「農地の有効活用(農業基盤整備や農地の集積など)」が15.0%、「幅広い担い手への支援(農業後継者・女性農業者・新規就農者・企業参入支援など)」が12.8%、「川越ブランドの振興」が9.5%となっている。

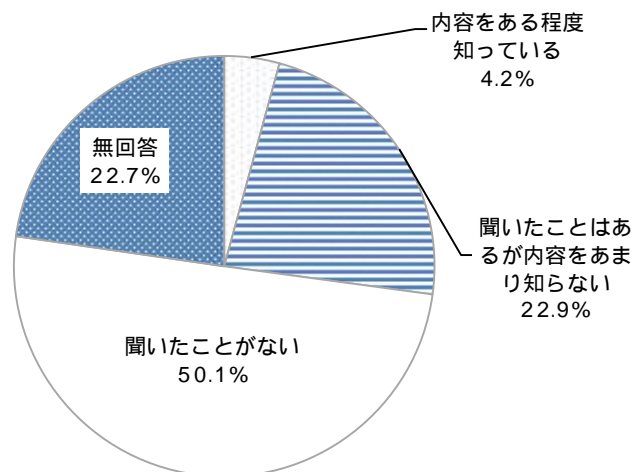
川越市の農業振興施策全般で今後特に充実すべき内容	回答数	割合(%)
安定した農業経営の確立	293	17.8%
農地の有効活用(農業基盤整備や農地の集積など)	248	15.0%
幅広い担い手への支援 (農業後継者・女性農業者・新規就農者・企業参入支援など)	211	12.8%
川越ブランドの振興	156	9.5%
地産地消の促進	143	8.7%
農産物の安全・安心の確保(農薬・化学肥料を削減した農法など)	143	8.7%
農用区域の保全(優良農地の保全・遊休農地の利用集積など)	111	6.7%
地域農業のしくみづくり(人・農地プランなど地域単位での農業振興)	93	5.6%
生活環境改善と水質保全(生活排水の水質浄化を促進)	91	5.5%
中核的な担い手の育成と確保	87	5.3%
農の多面的機能と環境の保全	80	4.8%
観光産業との連携	48	2.9%
食品産業との連携強化	45	2.7%
農業者・市民・行政間のネットワークの形成	38	2.3%
資源循環の推進	31	1.9%
その他	25	1.5%
無回答	881	53.4%
全体	1,650	100.0%



問 38 平成 30 年度から、自然災害や農産物の価格低下などによる収入減少を補償する「収入保険制度」が新たに始まります。この「収入保険制度」についてご存知でしょうか。(1つに)

「聞いたことがない」が 50.1%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが内容をあまり知らない」が 22.9%、「内容をある程度知っている」が 4.2%となっている。

収入保険制度	回答数	割合 (%)
内容をある程度知っている	70	4.2%
聞いたことはあるが内容をあまり知らない	378	22.9%
聞いたことがない	827	50.1%
無回答	375	22.7%
全体	1,650	100.0%



問 39 平成 30 年度から、米の直接支払い交付金が廃止されます。今後の水稻の経営について、どのようなお考えをお持ちですか。

複数の項目に該当するご意見は重複して記載
意見の後ろにある()の数字は同様の回答内容の数を示している

- ・現状維持、影響はない(54)
- ・農業をやめる、規模縮小(24)
- ・農業経営について(経営の安定、収入の増加等)(22)
- ・行政等の対応や支援、政策について(15)
- ・米の消費や流通について(14)
- ・ブランド化、高品質化について(13)
- ・担い手の育成について(9)
- ・水稻農家の衰退(離農、生産量の減少等)(9)
- ・米作りを継続する(8)
- ・加工用米や飼料用米への転換、他の作物への転換について(7)
- ・大規模化、農地の集積について(7)
- ・農地の貸借について(5)
- ・農業法人について(4)
- ・水稻は作付けしていない(16)
- ・特になし、わからない(9)
- ・その他(15)

問 40 TPP（環太平洋パートナーシップ協定）について、本市農業においても影響を注視していく必要があります。不安点などございましたらご記入ください。

複数の項目に該当するご意見は重複して記載

意見の後ろにある（ ）の数字は同様の回答内容の数を示している

- ・農産物の価格、農産物の輸入拡大(41)
- ・行政の対応、支援等(21)
- ・農業経営(18)
- ・農地保全、農地管理(4)
- ・食料自給率(4)
- ・TPPの内容、TPPによる影響がわからない(4)
- ・担い手の育成・確保(3)
- ・食の安全性(3)
- ・農産物の輸出の拡大(2)
- ・アメリカの動向について(2)
- ・その他(5)
- ・特になし、わからない(45)

問 41 川越市において「最も力を入れるべき農業施策」についてご意見がありましたら自由にご記入ください。

複数の項目に該当するご意見は重複して記載

意見の後ろにある（ ）の数字は同様の回答内容の数を示している

- ・農業における災害対策(3)
- ・施設園芸等の導入促進(2)
- ・野焼き(1)
- ・稲作の継承(3)
- ・農地の有効活用(8)
- ・農地保全(8)
- ・農地の貸借・譲渡(9)
- ・農地転用(2)
- ・農地の集積(14)
- ・農業基盤整備(26)
- ・耕作放棄地(9)
- ・農業機械(9)
- ・生産緑地の有効活用による都市農業の振興(1)
- ・担い手の育成・確保(11)
- ・農地貸借の円滑化(2)
- ・小規模農業者への支援(5)

- ・所得の向上(6)
- ・直売所(4)
- ・後継者の育成(13)
- ・農業法人・企業参入・集団化(17)
- ・研修(4)
- ・ブランド化(10)
- ・販路拡大(6)
- ・市民農園(2)
- ・行政(川越市)に対する意見(50)
- ・その他(56)
- ・特になし(20)